

Hydraulic Link Clamp

油圧リンククランプ

Model LKA

Model LJV

Model LKC

Model TMV-2

Model LKK

Model TMA-2

Model LKV

Model TMA-1

Model LKW

Model LFW/LFA

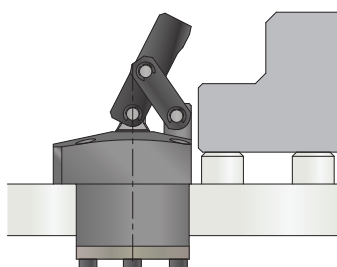
Model LJ/LM



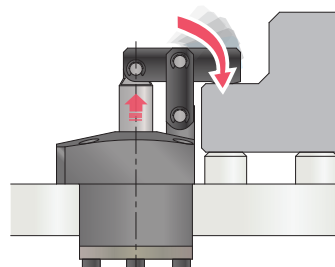
リンク部はシリンダと一体構造でコンパクト

リンク部の設計不要

動作説明

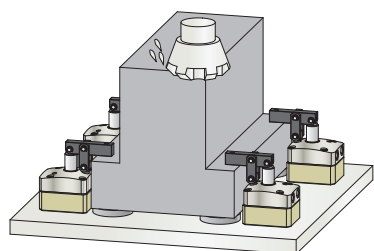


リリース状態

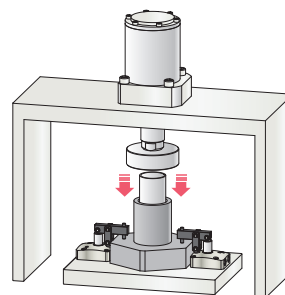


ロック状態

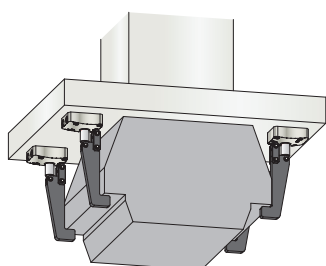
使用例



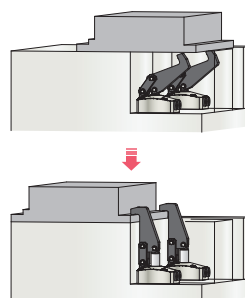
加工工程に



圧入工程に



搬送・ガントリーローダーに



レバーの工夫で搬送時の干渉を防止



リンククランプ 退避式

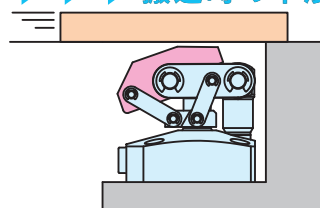
Model LFW/LFA

リリース時にレバーが退避することで干渉回避するリンククランプ
レバーの軌跡がコンパクトで、くぼみ形状となる箇所のクランプが可能となります。

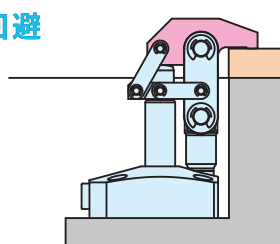
NEW

レバー退避でワーク搬入出時の干渉を回避

→ → → 搬送時の干渉回避



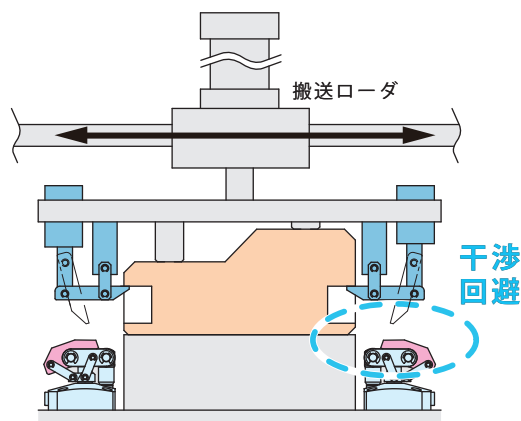
リリース（搬入出）



クランプ

スライドして搬入出するワークとの干渉回避

レバーが大きく退避することで、工程間搬送等
ワークをスライドさせて搬入出し、クランプすることができます。



ロボットハンド側のクランプとの干渉を回避

レバーが大きく退避することで、搬送ロボットのワーク
クランプレバーとの干渉を回避します。



くるくるリンククランプ

Model LKK

レバーの向きを任意に 360° 回転できるリンククランプ
多種ワークに対応・ジグ設計も簡素化できます。

レバー方向の段取替えで多種ワークに対応可



ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ SFA/SFC
スイングクランプ
LHA 複動
LHC 複動
LHD 複動
LHS 複動
LHV 複動
LHW 複動
LG/LT 単動
LGV 単動
TLV-2 複動
TLA-2 複動
TLB-2 複動
TLA-1 単動

リンククランプ
LKA 複動
LKC 複動
LKK 複動
LKV 複動
LKW 複動
LJ/LM 単動
LJV 単動
TMV-2 複動
TMA-2 複動
TMA-1 単動
LFA/LFW 複動

サイドクランプ LSA/LSE

ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC

リフトシリンダ
LLV
LLW

リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT

ブロックシリンダ
DBA/DBC

センタリングパイプ
FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS

パレットクランプ
VS/VT

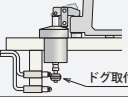
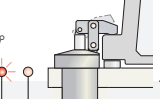
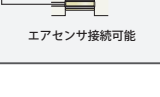
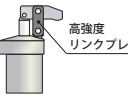
拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK

ロケートシリンダ
VFP

プルスタッドクランプ
FP/FQ

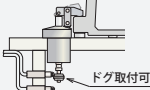
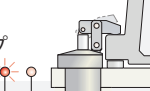
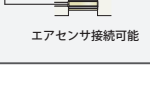
カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB

バリエーション

低圧タイプ MAX. 7MPa						
		Model LKA → P.749	Model LKC → P.775	Model LKK → P.789	Model LKV → P.803	Model LKW → P.823
区分		複動	複動 コンパクト	複動 レバー位相任意	複動 1ポート2センシング	複動 センシングバルブ内蔵
使用圧力範囲		0.5~7MPa	0.5~7MPa	0.5~7MPa	1~7MPa	0.5~7MPa
標準タイプ		外形寸法 → P.761	外形寸法 → P.783	外形寸法 → P.797	—	—
動作確認	ドグ用両ロッドタイプ  ドグ取付可	外形寸法 → P.763	—	—	—	—
	エアセンサ対応 マニホールタイプ 	外形寸法 → P.765	—	—	—	—
	エアセンサ対応 配管タイプ  エアセンサ接続可能	外形寸法 → P.767	—	—	—	—
	エアセンサ対応 センシングバルブ内蔵タイプ	—	—	—	外形寸法 → P.817	外形寸法 → P.837
オプション	クイックチェンジ レバータイプ A 	外形寸法 → P.769	外形寸法 → P.785	外形寸法 → P.799	外形寸法 → P.819	外形寸法 → P.843
	高強度リンク プレートタイプ  高強度 リンクプレート	許容偏心量が増加します (外形寸法は標準タイプと同様です)			—	許容偏心量が増加します (外形寸法は標準タイプと同様です)
	ツバ付きピン C形止め輪タイプ  ピン特殊 標準 ツバ付きピン	★	★	★	★	★
アクセサリ	レバー関連 	LZK-L LZK-W → P.774	LZK-L LZK-W → P.788	LZK-L LZK-W → P.802	LZK-L LZK-W → P.822	LZK-L LZK-W → P.846
	マニホールド ブロック 	LZY-MD → P.1655			—	—
	スピードコントロールバルブ プラグ関連 	BZL、BZX、JZG、BZS → P.1211				

※ ★部の詳細寸法は別途お問い合わせください。

高圧タイプ MAX. 35MPa				
		Model TMA-2 → P.895	Model TMA-1 → P.907	Model TMV-2 → P.879
区分		複動	単動 (バネリリース)	複動 動作確認機能付
使用圧力範囲		3.5~35MPa	3.5~35MPa	3.5~35MPa
アクセサリ	レバー関連 	LZ-LJ3 LZ-LJ2 → P.906	LZ-LJ3 LZ-LJ2 → P.918	LZ-LJ3 LZ-LJ2 → P.894
	マニホールド ブロック 	TMZ-2MB → P.1658	TMZ-1MB → P.1658	—
	スピードコントロールバルブ プラグ関連 	BZT、JZG → P.1211		
	G ネジ継手 	G ネジ継手 (イハラサイエンス社製) → P.1677		

低圧タイプ MAX. 7MPa		 Model LJ/LM → P.847	 Model LJV → P.863	 Model LFA → P.919	 Model LFW → P.919
区分		単動 (パネリリース)	単動 (パネリリース) 動作確認機能付	複動リンククランプ退避式	複動リンククランプ退避式 センシングバルブ内蔵
使用圧力範囲		2.5～7MPa	2.5～7MPa	1～7MPa	1～7MPa
標準タイプ		外形寸法 → P.855	—	外形寸法 → P.933	—
動作確認	ドグ用両ロッドタイプ  ドグ取付可	—	—	外形寸法 → P.935	—
	エアセンサ対応 マニホールドタイプ 	—	—	—	—
	エアセンサ対応 配管タイプ  エアセンサ接続可能	—	—	—	—
	エアセンサ対応 センシングバルブ内蔵タイプ	—	外形寸法 → P.875	—	外形寸法 → P.931
オプション	クイックチェンジ レバータイプ A 	外形寸法 → P.857	—	—	—
	高強度リンク プレートタイプ  高強度 リンクプレート	—	—	—	—
	ツバ付きピン C形止め輪タイプ  ピン特殊 標準 ツバ付きピン	—	—	—	—
アクセサリ	レバー関連 	LZ-LJ1、LZ-LJ2 LZK-W → P.860	LZ-LJ1、LZ-LJ2 → P.878	LZK-F → P.938	LZK-F → P.938
	マニホールド ブロック 	LZ-MS → P.1656	—	—	—
	スピードコントロールバルブ プラグ関連 	BZL、BZX、JZG、BZS → P.1211			

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ
SFA/SFC
スイングクランプ
LHA 複動
LHC 複動
LHD 複動
LHS 複動
LHV 複動
LHW 複動
LG/LT 単動
LGV 単動
TLV-2 複動
TLA-2 複動
TLB-2 複動
TLA-1 単動

リンククランプ
LKA 複動
LKC 複動
LKK 複動
LKV 複動
LKW 複動
LJ/LM 単動
LJV 単動
TMV-2 複動
TMA-2 複動
TMA-1 単動
LFA/LFW 複動

サイドクランプ
LSA/LSE
ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC

リフトシリンダ
LLV
LLW

リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT

ブロックシリンダ
DBA/DBC

センタリングパイプ
FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS

パレットクランプ
VS/VT

拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK

ロケートシリンダ
VFP

ブルスタッドクランプ
FP/FQ

カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB



ハイパワーリンククランプ 油圧複動タイプ

Model LKE

クランプ力はそのままで、衝撃の2サイズダウン
倍力機構と油圧により強力なクランプ力と保持力を実現。
詳細は P.53 を参照ください。

Air Sensing Link Clamp

低圧：2.5～7MPa

動作確認機能付 リンククランプ[°] 油圧単動

Model LJV



1ポートで

ロック・リリース動作の検知ができる単動リンククランプ[°]

動作確認機能がクランプに内蔵されており省スペース

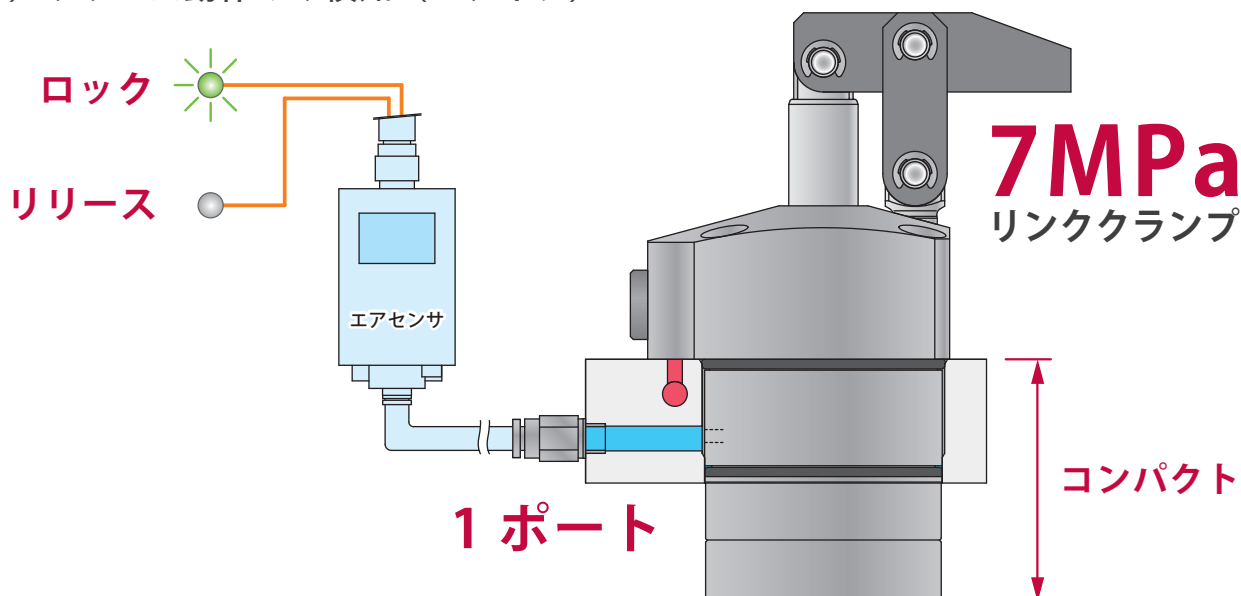
PAT.



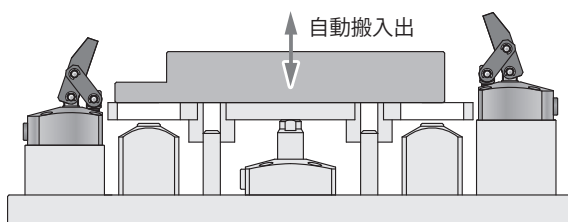
動作確認機能付きの 7MPa 単動リンククランプ誕生

選べる3タイプ

- (1) ロック動作・リリース動作をエア1ポートで検知（Eタイプ）
- (2) ロック動作のみ検知（Hタイプ）
- (3) リリース動作のみ検知（Jタイプ）



● 使用例



動作確認が必要な自動化ラインに

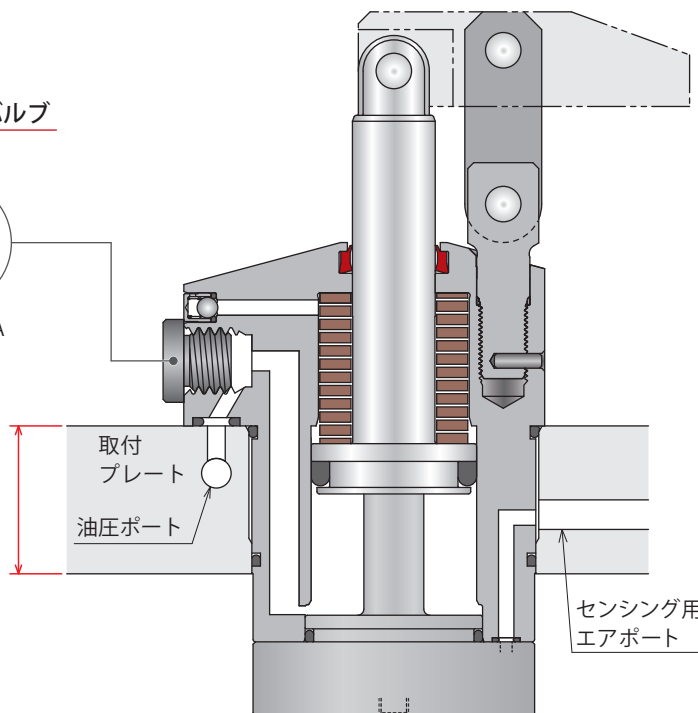
● 特長

ダイレクトマウント可能なスピードコントロールバルブ

エア抜き機能付きスピードコントロールバルブ（別売）が直付け可能です。



圧倒的な薄型ジグ設計へ
取付プレート
最小厚み 25mm

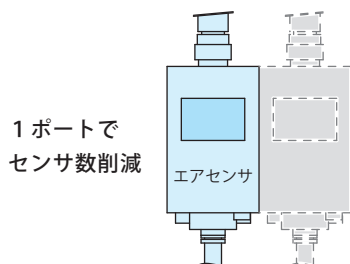


動作確認タイプを問わず同寸法

3種類の動作確認タイプの外形寸法および取付穴加工寸法は同じで、ジグ設計がシンプル。同一寸法のため、後から動作確認タイプの異なるクランプに交換することが可能です。

センサ数削減 ※Eタイプ：ロック・リリース両側検知タイプ時

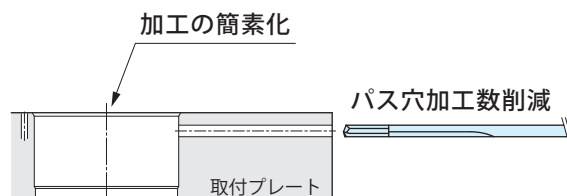
センサは1つで、ロック動作およびリリース動作の確認が可能となり、センサ数を削減できます。
（2出力タイプのセンサが必要です。）



1ポートで
センサ数削減

ポート数の削減・簡単加工

センサ用回路が1ポートとなり、ロータリージョイントのポート数削減。ジグプレートのパス穴加工削減、シンプルな取付穴でジグ加工が簡素化できます。



加工の簡素化

パス穴加工数削減

取付プレート



センサユニット 1ポート2センシングクランプ用 Model LZV0010（別売）

Eタイプ：ロック・リリース両側検知タイプ時の動作確認に必要なエアセンサやバルブ、フィルタ、レギュレータ、クリーニング回路をユニット化したセンサユニットです。センサ設定もセットした状態で出荷いたします。詳細は P.1669 を参照ください。

ハイパワー
シリーズ

エアシリーズ

油圧シリーズ

バルブ・カプラ
ハイドロユニット

手動機器
アクセサリ

注意事項・その他

ホールクランプ
SFA/SFC

スイングクランプ

LHA 複動

LHC 複動

LHD 複動

LHS 複動

LHV 複動

LHW 複動

LG/LT 単動

LGV 単動

TLV-2 複動

TLA-2 複動

TLB-2 複動

TLA-1 単動

リンククランプ

LKA 複動

LKC 複動

LKK 複動

LKV 複動

LKW 複動

LJ/LM 単動

LJV 単動

TMV-2 複動

TMA-2 複動

TMA-1 単動

LFA/LFW 複動

サイドクランプ

LSA/LSE

ワークサポート

LD

LC

LCW

TNC

TC

リフトシリンダ

LLV

LLW

リニアシリンダ/
コンパクトシリンダ

LL/LLR/LLU

DP

DR

DS

DT

ブロックシリンダ

DBA/DBC

センタリングパイプ

FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ

BZL

BZT

BZX/JZG

BZS

パレットクランプ

VS/VT

拡張ロケートピン

VFH

VFL/VFM

VFJ/VFK

ロケートシリンダ

VFP

ブルスタッドクランプ

FP/FQ

カスタムメイド
パネシリンダ

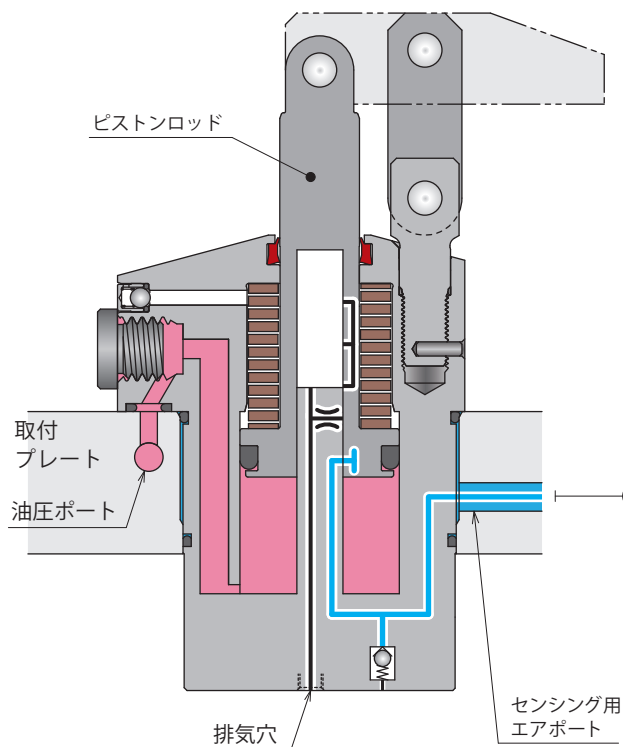
DWA/DWB

● 動作説明（内部構造）

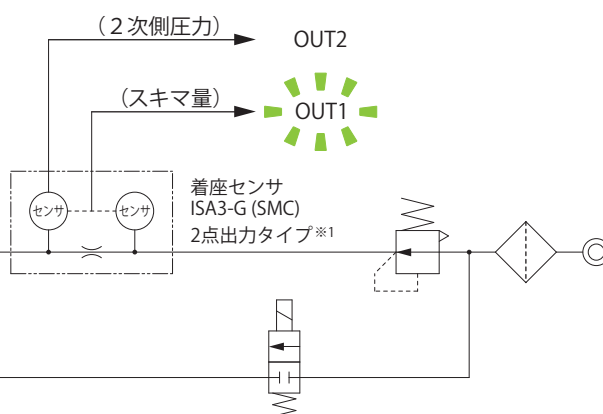
本図は動作確認記号 **5 E**（ロック・リリース動作確認タイプ）の場合を示します。

■ ロック時

ピストンロッドが上昇し、ワークをクランプします。



油圧	エアセンサ	
ロック油圧	ロック確認出力 1(OUT1)	リリース確認出力 2(OUT2)
ON	ON	OFF

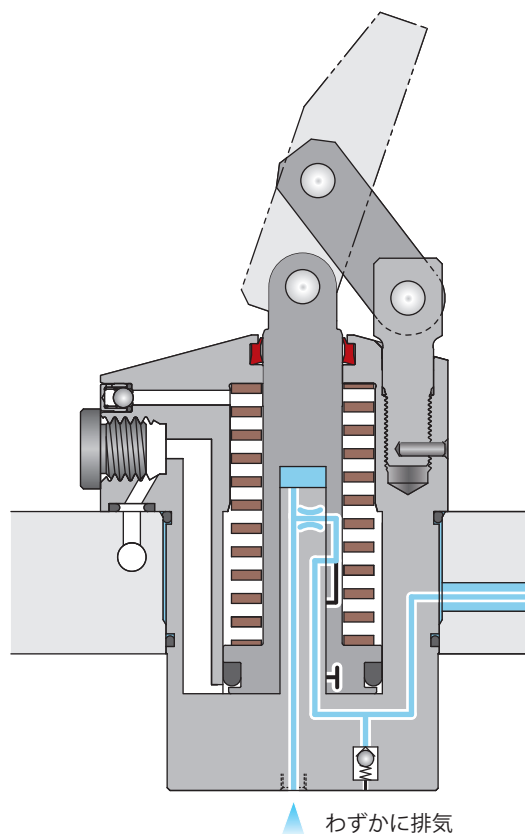


注意事項

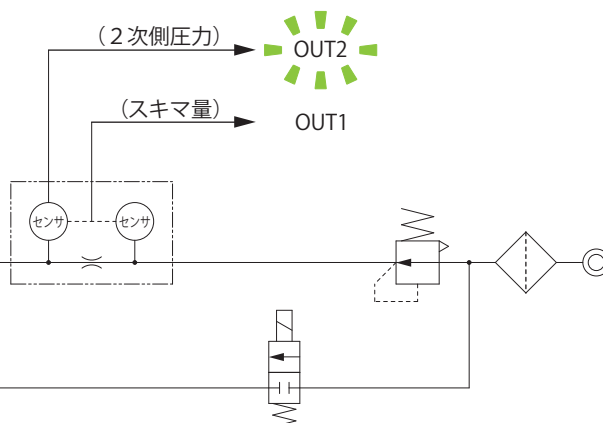
※1. 動作確認記号 **5 H/J** 選択時（片側動作確認タイプ）は、着座センサは 1 点出力タイプのアセンサで使用できます。

■ リリース時

ピストンロッドが下降します。

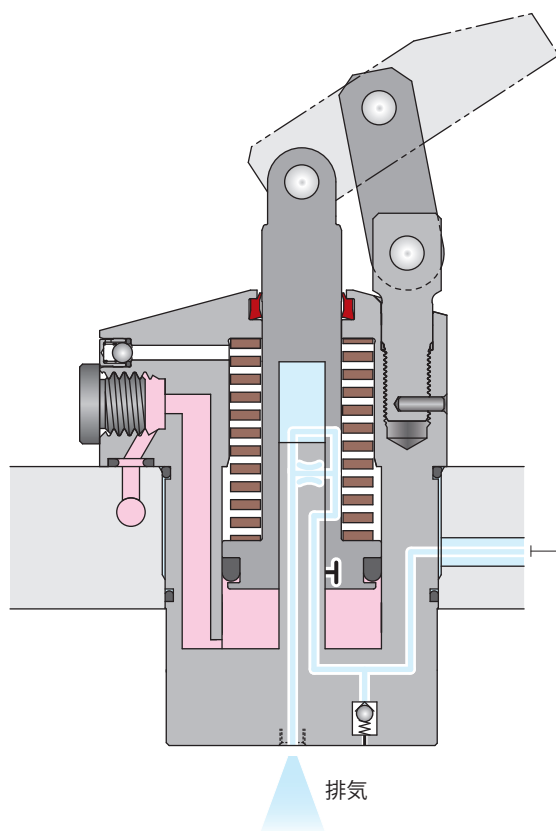


油圧	エアセンサ	
ロック油圧	ロック確認出力 1(OUT1)	リリース確認出力 2(OUT2)
OFF	OFF	ON



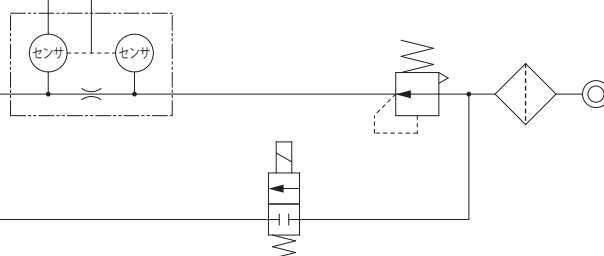
■ 動作途中

ストローク動作途中はエアセンサがOFFになります。
センサON/OFF範囲についての詳細は、P.868のエアセンシング
チャートを参照ください。



油圧	エアセンサ	
ロック油圧	ロック確認 出力 1 (OUT1)	リリース確認 出力 2 (OUT2)
(OFF)	OFF	OFF

(2次側圧力) → OUT2
(スキマ量) → OUT1



動作確認記号 **5 H/J** の動作とエアセンサ出力は下表の通りです。

動作確認記号	5 H 選択時 ロック動作確認タイプ	5 J 選択時 リリース動作確認タイプ
ロック時	エアセンサ出力 ON	エアセンサ出力 OFF
リリース時	エアセンサ出力 OFF	エアセンサ出力 ON
動作途中	エアセンサ出力 OFF	エアセンサ出力 OFF

※ 上表のエアセンサ出力 ON 時：排気穴からエアの排気はありません。エアセンサ出力 OFF 時：排気穴からエアを排気します。

ハイパワー
シリーズ

エアシリーズ

油圧シリーズ

バルブ・カプラ
ハイドロユニット手動機器
アクセサリ

注意事項・その他

ホールクランプ

SFA/SFC

スイングクランプ

LHA (複動)

LHC (複動)

LHD (複動)

LHS (複動)

LHV (複動)

LHW (複動)

LG/LT (単動)

LGV (単動)

TLV-2 (複動)

TLA-2 (複動)

TLB-2 (複動)

TLA-1 (単動)

リンククランプ

LKA (複動)

LKC (複動)

LKK (複動)

LKV (複動)

LKW (複動)

LJ/LM (単動)

LJV (単動)

TMV-2 (複動)

TMA-2 (複動)

TMA-1 (単動)

LFA/LFW (複動)

サイドクランプ

LSA/LSE

ワークサポート

LD

LC

LCW

TNC

TC

リフトシリンダ

LLV

LLW

リニアシリンダ/
コンパクトシリンダ

LL/LLR/LLU

DP

DR

DS

DT

ブロックシリンダ

DBA/DBC

センタリングパイプ

FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ

BZL

BZT

BZX/JZG

BZS

パレットクランプ

VS/VT

拡張ロケートピン

VFH

VFL/VFM

VFJ/VFK

ロケートシリンダ

VFP

プルスタッドクランプ

FP/FQ

カスタムメイド
パネシリンダ

DWA/DWB

● 動作確認機能とエアセンシングチャート

エアセンサを接続して差圧を検出することで、動作確認が行えます。

適用形式

LJV 048 0 - C

L C R
E H J

5 動作確認記号

- E：ロック・リリース動作確認タイプ
- H：ロック動作確認タイプ
- J：リリース動作確認タイプ

■ エアセンサについて

推奨エアセンサ

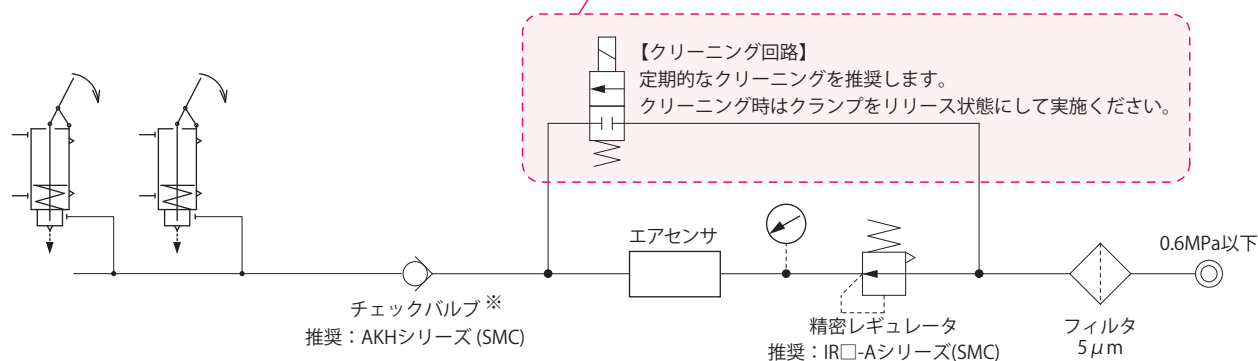
動作確認記号	5 E選択時	5 H、J選択時	
メーカー	SMC	SMC	CKD
名称	デジタル着座スイッチ	デジタル着座スイッチ	デジタルギャップスイッチ
形式	ISA3-G□A、ISA3-G□B	ISA3-G□N、ISA3-G□P	GPS3-E
エアセンサの条件	2点出力の上記エアセンサが必要	一般的な1点出力のエアセンサを使用可能	
推奨エア圧力	0.1～0.2MPa (クランプ4台時は0.15～0.2MPa)	0.1～0.2MPa	

● 5 E選択時 エアセンサ1台当たりのクランプ接続台数：2台～4台

※クランプを1台でご使用の場合はお問い合わせください。

- 5 H、J選択時 エアセンサ1台当たりのクランプ接続台数の制限はありません。
- エアセンサの詳細については、メーカーカタログ等を参照願います。
- 使用時は常時エアを供給願います。
- エア回路構成は下図を参照ください。
- エアセンサの検出ポートに、低クラッキング圧のチェックバルブ（※部）を設置してください。
(推奨チェックバルブ：SMC製 AKHシリーズ クラッキング圧 0.005MPa)

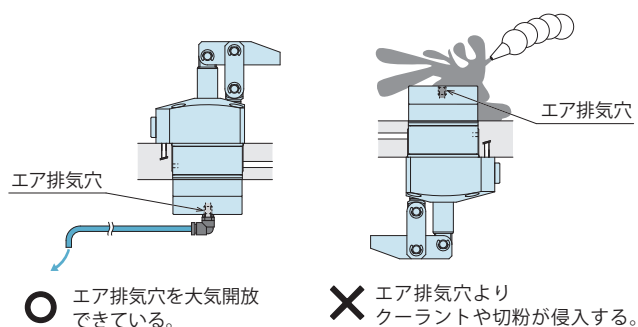
5 E選択時のみクリーニング回路が必要です。



■ 設計時・施工時・使用時の注意事項

- エア排気穴は必ず大気開放とし、クーラント・切粉等が侵入しないようにしてください。※
エア排気穴が塞がるとエアセンサが誤作動します。

【エア排気穴へのクーラント・切粉等の侵入防止例】
低クラッキング圧のチェックバルブを設置することで、クーラント・切粉の侵入を防止できます。（推奨チェックバルブ：SMC製 AKHシリーズ クラッキング圧 0.005MPa）



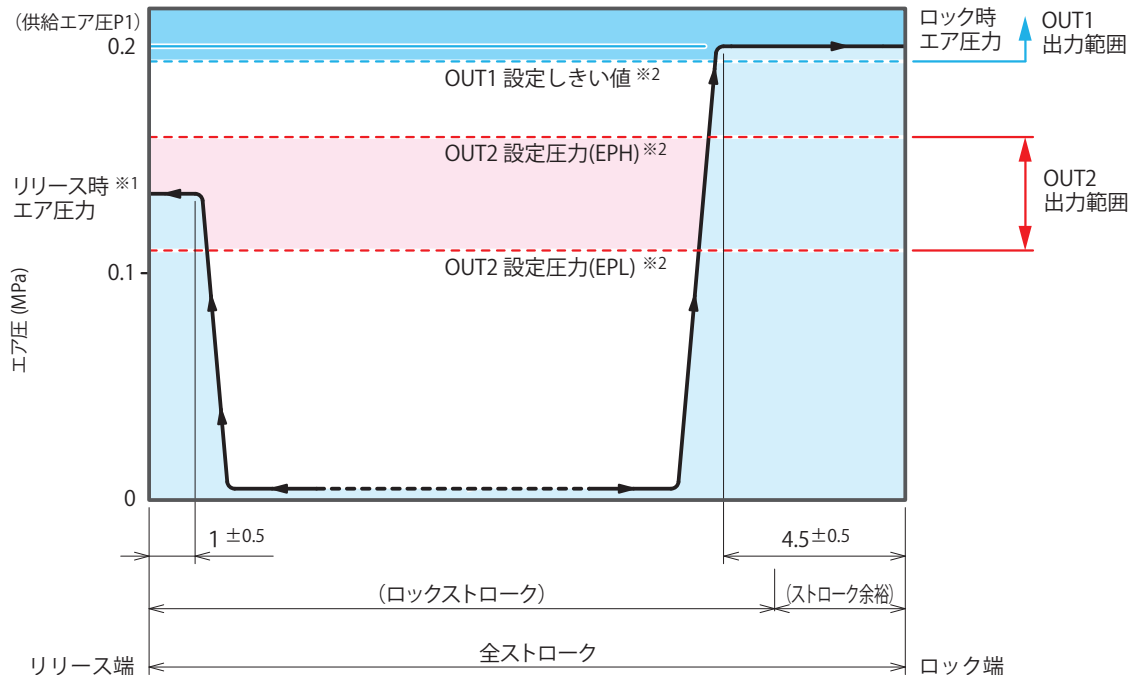
- センシング用エアポートへのエア供給について、ご使用時は、常時エア供給願います。

※ 内部腐食による製品損傷、動作不良になります。

エアセンシングチャート

5 E: ロック・リリース動作確認タイプ

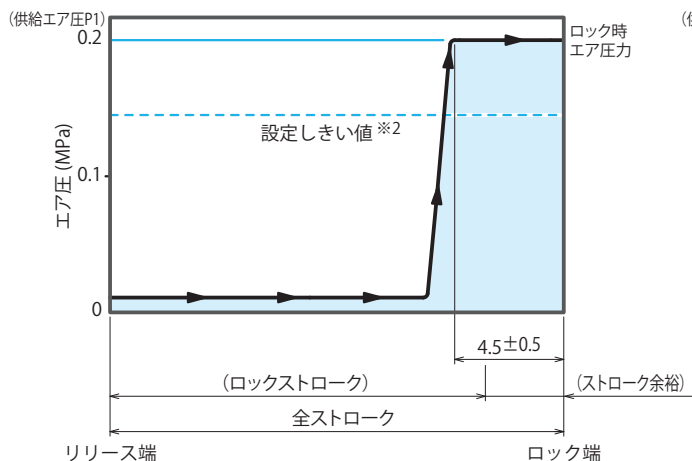
クランプ接続台数 3 台 供給エア圧 0.2MPa の場合



ロック動作確認を OUT1 (しきい値)、リリース動作確認を OUT2 (圧力設定値) で検出するようにセンサの設定をしてください。
また、OUT1、OUT2 ともに応差は 0 に設定してください。必ず推奨のエアセンサをご使用願います。

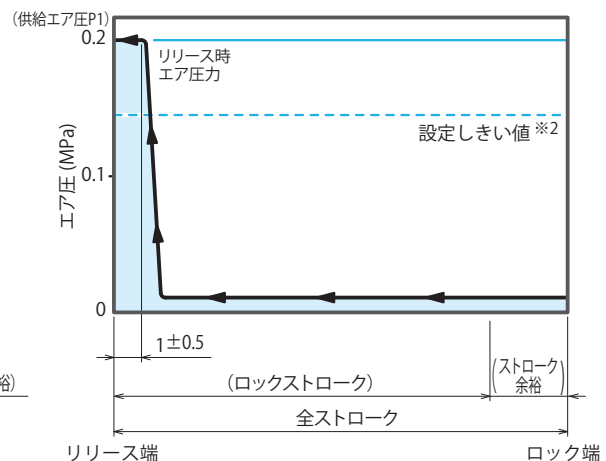
5 H: ロック動作確認タイプ

クランプ接続台数 3 台 供給エア圧 0.2MPa の場合



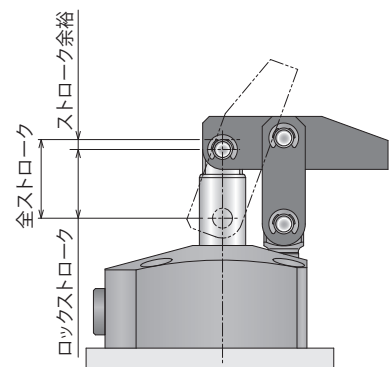
5 J: リリース動作確認タイプ

クランプ接続台数 3 台 供給エア圧 0.2MPa の場合



注意事項

- 本センシングチャートはストロークと検出回路エア圧の関係を示します。
- エア回路の構成により特性が変わる場合があります。
エアセンサの応答性に影響するため、センサ 2 次側の配管チューブは外径φ6 (内径φ4) を使用し極力短くしてください。
- リリース時圧力は、エア回路の状態にともない経時変化することがあります。
- エアセンサから ON 信号が出力される位置はセンサの設定によって変化します。ご使用のシステムに応じて設定をしてください。
エアセンサの詳細については、メーカーの取扱説明書等を参照願います。



ハイパワー
シリーズ

エアシリーズ

油圧シリーズ

バルブ・カプラ
ハイドロユニット

手動機器
アクセサリ

注意事項・その他

ホールクランプ
SFA/SFC

スイングクランプ

LHA 複動

LHC 複動

LHD 複動

LHS 複動

LHV 複動

LHW 複動

LG/LT 単動

LGV 単動

TLV-2 複動

TLA-2 複動

TLB-2 複動

TLA-1 単動

リンククランプ

LKA 複動

LKC 複動

LKK 複動

LKV 複動

LKW 複動

LJ/LM 単動

LJV 単動

TMV-2 複動

TMA-2 複動

TMA-1 単動

LFA/LPW 複動

サイドクランプ

LSA/LSE

ワークサポート

LD

LC

LCW

TNC

TC

リフトシリンダ

LLV

LLW

リニアシリンダ/
コンパクトシリンダ

LL/LLR/LLU

DP

DR

DS

DT

ブロックシリンダ

DBA/DBC

センタリングパイプ

FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ

BZL

BZT

BZX/JZG

BZS

パレットクランプ

VS/VT

拡張ロケートピン

VFH

VFL/VFM

VFJ/VFK

ロケートシリンダ

VFP

ブルスタッドクランプ

FP/FQ

カスタムメイド
パネシリンダ

DWA/DWB

● 形式表示

LJV **048** **0** - **C** **R** **E**

1
2
3
4
5

1 ボディサイズ

040 : $\phi D=40\text{mm}$

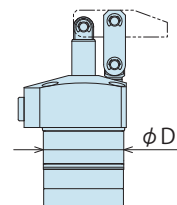
048 : $\phi D=48\text{mm}$

055 : $\phi D=55\text{mm}$

065 : $\phi D=65\text{mm}$

075 : $\phi D=75\text{mm}$

※ 本体シリンダ部の外形 (ϕD) を示します。

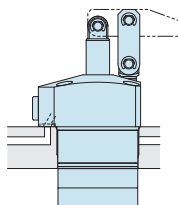
**2** デザインNo.

0 : 製品のバージョン情報です。

3 配管方式

C : ガスケットタイプ (Gネジプラグ付)

※ スピードコントロールバルブ (BZL-A) は別売りです。
P.1211を参照ください。



Gネジプラグ付
BZL-Aスピコン取付可

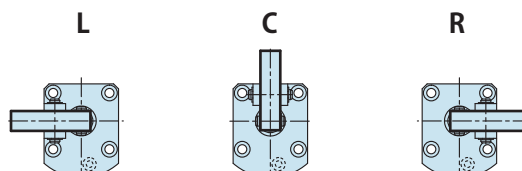
4 レバー方向

L : 左

C : 中央

R : 右

※ 配管ポート位置を手前に置いたときのレバー方向を示します。

**5** 動作確認記号

E : ロック・リリース動作確認タイプ (両側確認タイプ)

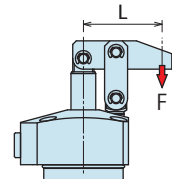
H : ロック動作確認タイプ

J : リリース動作確認タイプ

●仕様

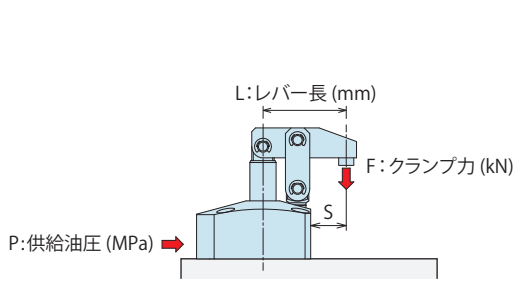
形式		LJV0400-C□□	LJV0480-C□□	LJV0550-C□□	LJV0650-C□□	LJV0750-C□□
ロックシリンダ面積	cm ²	4	5.4	8.3	12.7	20.1
シリンダ内径 ※1	mm	24	28	34	42	52
ロッド径 ※1	mm	12	14	16	18	22
クランプ力 ※2 (計算式)	kN	$F = \frac{5.79 \times P - 2.80}{L - 16}$	$F = \frac{8.94 \times P - 5.62}{L - 18.5}$	$F = \frac{15.68 \times P - 7.49}{L - 21}$	$F = \frac{28.06 \times P - 12.13}{L - 24.5}$	$F = \frac{54.29 \times P - 24.93}{L - 30}$
全ストローク	mm	20.5	23.5	26	29.5	35
ロックストローク	mm	17.5	20.5	23	26.5	32
ストローク余裕	mm	3	3	3	3	3
シリンダ容量	cm ³	8.2	12.6	21.6	37.5	70.4
戻しバネ力	max.	0.21	0.36	0.44	0.58	0.96
	kN min.	0.1	0.17	0.24	0.33	0.49
油圧	最高使用圧力	MPa 7				
	最低作動圧力 ※3	MPa 2.5				
	耐圧	MPa 10.5				
推奨エア使用圧力		MPa 0.1 ~ 0.2				
推奨	5 E 選択時 ※4	ISA3-G□A, ISA3-G□B (2出力タイプ) : SMC製 ※4				
エアセンサ	5 H/J 選択時	ISA3-G□N, ISA3-G□P (1出力タイプ) : SMC製 / GPS3-E:CKD製				
使用温度	℃	0 ~ 70				
使用流体		ISO-VG-32相当 一般作動油				
質量 ※5	kg	0.9	1.2	1.8	2.5	4

- 注意事項 ※1. クランプ力は、シリンダ内径、ロッド径より算出できません。クランプ力計算式、クランプ力線図を参照ください。
※2. F : クランプ力 (kN)、P : 供給油圧 (MPa)、L : ピストン中心からクランプポイントまでの距離 (mm)。
※3. 無負荷でクランプが動作する最低圧力を示します。
※4. エアセンサ1台あたりのクランプ接続数は2~4台です。クランプを1台でご使用の場合はお問い合わせください。
※5. 質量はリンクレバーを除く、クランプ単体の質量を示します。



ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他
ホールクランプ SFA/SFC
スイングクランプ
LHA 複動
LHC 複動
LHD 複動
LHS 複動
LHV 複動
LHW 複動
LG/LT 単動
LGV 単動
TLV-2 複動
TLA-2 複動
TLB-2 複動
TLA-1 単動
リンククランプ
LKA 複動
LKC 複動
LKK 複動
LKV 複動
LKW 複動
LJ/LM 単動
LJV 単動
TMV-2 複動
TMA-2 複動
TMA-1 単動
LFA/LFW 複動
サイドクランプ
LSA/LSE
ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC
リフトシリンダ
LLV
LLW
リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT
ブロックシリンダ
DBA/DBC
センタリングバイス
FVA/FVC/FVD
コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS
パレットクランプ
VS/VT
拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK
ロケートシリンダ
VFP
ブルスタッドクランプ
FP/FQ
カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB

● クランプ力線図

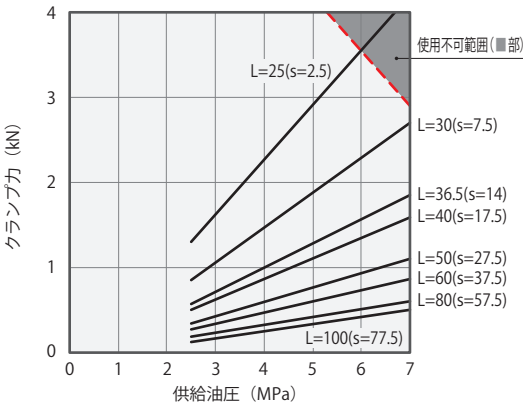


適用形式
LJV 0 - C LCR E H J
1 ボディサイズ

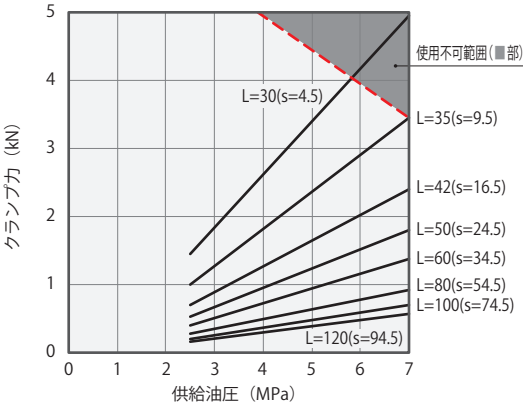
(例) LJV0480を使用の場合
供給油圧5.0MPa、レバー長L=50mmの時、クランプ力は約1.2kNとなります。

- 注意事項
- 1. 本表およびグラフは、クランプ力と供給油圧の関係を示しています。
 - 2. シリンダ出力 (L=0 時) は各仕様欄の計算式では求められません。
 - 3. 使用不可範囲で使用されますと、変形・かじり・油漏れ等の原因になります。
- ※1. F: クランプ力 (kN)、P: 供給油圧 (MPa)、L: レバー長さ (mm) を示します。

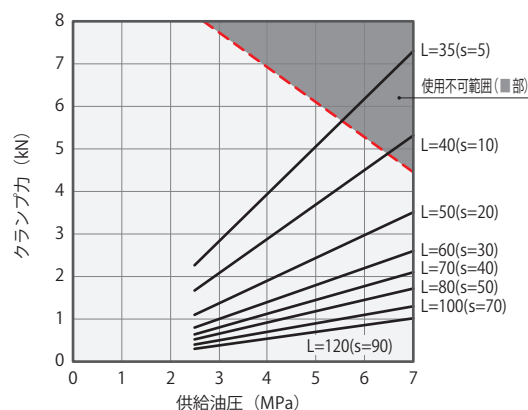
LJV0400		クランプ力計算式 ※1 (kN) $F = (5.79 \times P - 2.80) / (L - 16)$									
供給油圧 (MPa)	シリンダ出力 (kN)	クランプ力(kN) ■内は使用不可範囲								最短レバー長さ (L) (mm)	
		L=25	L=30	L=36.5	L=40	L=50	L=60	L=80	L=100		
7	2.6		2.7	1.8	1.6	1.1	0.9	0.6	0.4	30	
6.5	2.4		2.5	1.7	1.5	1.0	0.8	0.5	0.4	28	
6	2.2		2.3	1.6	1.3	0.9	0.7	0.5	0.4	26	
5.5	2.0	3.2	2.1	1.4	1.2	0.9	0.7	0.5	0.3	25	
5	1.8	2.9	1.9	1.3	1.1	0.8	0.6	0.4	0.3	23	
4.5	1.6	2.6	1.7	1.1	1.0	0.7	0.5	0.4	0.3	23	
4	1.4	2.3	1.5	1.0	0.8	0.6	0.5	0.3	0.2	23	
3.5	1.2	1.9	1.2	0.9	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	23	
3	1.0	1.6	1.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	23	
2.5	0.8	1.3	0.8	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.1	23	
最高使用圧力 (MPa)		5.6	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		



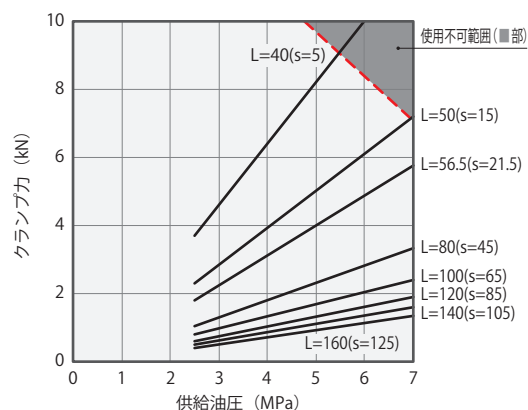
LJV0480		クランプ力計算式 ※1 (kN) $F = (8.94 \times P - 5.62) / (L - 18.5)$									
供給油圧 (MPa)	シリンダ出力 (kN)	クランプ力(kN) ■内は使用不可範囲								最短レバー長さ (L) (mm)	
		L=30	L=35	L=42	L=50	L=60	L=80	L=100	L=120		
7	3.4			2.4	1.8	1.4	0.9	0.7	0.6	36	
6.5	3.2			3.2	2.2	1.7	1.3	0.9	0.6	33	
6	2.9			2.9	2.0	1.5	1.2	0.8	0.6	31	
5.5	2.6	3.8	2.6	1.9	1.4	1.0	0.7	0.5	0.4	29	
5	2.3	3.4	2.4	1.7	1.2	0.9	0.6	0.5	0.4	27	
4.5	2.1	3.0	2.1	1.5	1.1	0.8	0.6	0.4	0.3	26	
4	1.8	2.6	1.8	1.3	1.0	0.7	0.5	0.4	0.3	26	
3.5	1.5	2.2	1.6	1.1	0.8	0.6	0.4	0.3	0.3	26	
3	1.3	1.8	1.3	0.9	0.7	0.5	0.3	0.3	0.2	26	
2.5	1.0	1.5	1.0	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	26	
最高使用圧力 (MPa)		5.8	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		



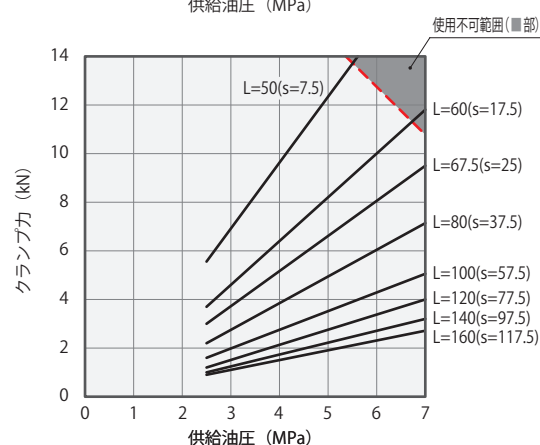
LJV0550		クランプ力計算式 ※1 (kN) $F = (15.68 \times P - 7.49) / (L - 21)$									
供給油圧 (MPa)	シリンダ出力 (kN)	クランプ力(kN)								■内は使用不可範囲	最短レバー長さ (L) (mm)
		レバー長さL(mm)									
		L=35	L=40	L=50	L=60	L=70	L=80	L=100	L=120		
7	5.4			3.5	2.6	2.1	1.7	1.3	1.0	44	
6.5	5.0			3.3	2.4	1.9	1.6	1.2	1.0	41	
6	4.6		4.6	3.0	2.2	1.8	1.5	1.1	0.9	37	
5.5	4.2	5.6	4.1	2.7	2.0	1.6	1.3	1.0	0.8	35	
5	3.8	5.1	3.7	2.4	1.8	1.4	1.2	0.9	0.7	33	
4.5	3.3	4.5	3.3	2.2	1.6	1.3	1.1	0.8	0.6	31	
4	2.9	3.9	2.9	1.9	1.4	1.1	0.9	0.7	0.6	30	
3.5	2.5	3.4	2.5	1.6	1.2	1.0	0.8	0.6	0.5	30	
3	2.1	2.8	2.1	1.4	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	30	
2.5	1.7	2.3	1.7	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	30	
最高使用圧力 (MPa)		5.5	6.4	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		



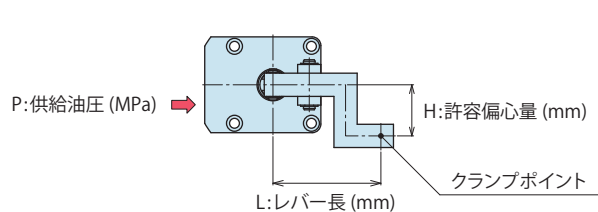
LJV0650		クランプ力計算式 ※1 (kN) $F = (28.06 \times P - 12.13) / (L - 24.5)$									
供給油圧 (MPa)	シリンダ出力 (kN)	クランプ力(kN)								■内は使用不可範囲	最短レバー長さ (L) (mm)
		レバー長さL(mm)									
		L=40	L=50	L=56.5	L=80	L=100	L=120	L=140	L=160		
7	8.4			5.8	3.3	2.4	1.9	1.6	1.4	51	
6.5	7.7			6.7	5.3	3.1	2.3	1.8	1.5	1.3	47
6	7.1			6.1	4.9	2.8	2.1	1.6	1.4	1.2	43
5.5	6.5			5.6	4.4	2.6	1.9	1.5	1.2	1.1	41
5	5.8	8.3	5.0	4.0	2.3	1.7	1.3	1.1	1.0	38	
4.5	5.2	7.4	4.5	3.6	2.1	1.5	1.2	1.0	0.8	36	
4	4.5	6.5	3.9	3.1	1.8	1.3	1.0	0.9	0.7	35	
3.5	3.9	5.6	3.4	2.7	1.6	1.1	0.9	0.7	0.6	35	
3	3.3	4.6	2.8	2.3	1.3	1.0	0.8	0.6	0.5	35	
2.5	2.6	3.7	2.3	1.8	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4	35	
最高使用圧力 (MPa)		5.4	6.9	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	



LJV0750		クランプ力計算式 ※1 (kN) $F = (54.29 \times P - 24.93) / (L - 30)$									
供給油圧 (MPa)	シリンダ出力 (kN)	クランプ力(kN)								■内は使用不可範囲	最短レバー長さ (L) (mm)
		レバー長さL(mm)									
		L=50	L=60	L=67.5	L=80	L=100	L=120	L=140	L=160		
7	13.2			9.5	7.1	5.1	3.9	3.2	2.7	63	
6.5	12.2			10.9	8.7	6.6	4.7	3.6	3.0	58	
6	11.1			10.0	8.0	6.0	4.3	3.3	2.7	53	
5.5	10.1	13.7	9.1	7.3	5.5	3.9	3.0	2.5	2.1	50	
5	9.1	12.3	8.2	6.6	4.9	3.5	2.7	2.2	1.9	47	
4.5	8.1	11.0	7.3	5.9	4.4	3.1	2.4	2.0	1.7	44	
4	7.1	9.6	6.4	5.1	3.8	2.7	2.1	1.7	1.5	43	
3.5	6.1	8.3	5.5	4.4	3.3	2.4	1.8	1.5	1.3	43	
3	5.1	6.9	4.6	3.7	2.8	2.0	1.5	1.3	1.1	43	
2.5	4.1	5.5	3.7	3.0	2.2	1.6	1.2	1.0	0.9	43	
最高使用圧力 (MPa)		5.5	6.7	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		



● 許容偏心量グラフ



適用形式

LJV 0 - C

L C R
E H J

1 ボディサイズ

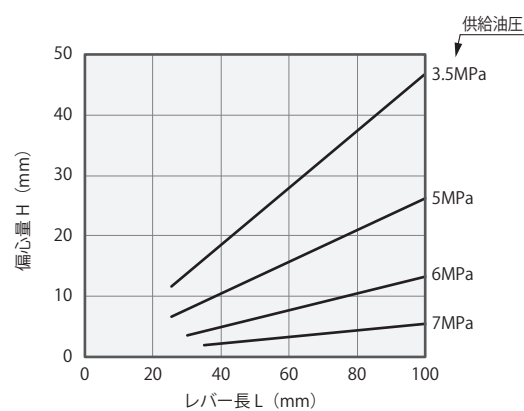
(例) LJV0480 を使用の場合

供給油圧 5.0MPa、レバー長 L=80mm の時、許容偏心量は約 19mm となります。

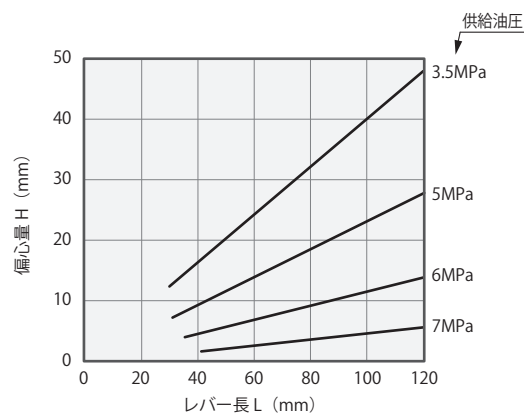
注意事項

1. 本表およびグラフは、供給油圧に対するレバー長さと許容偏心量の関係を示しています。
2. 許容偏心量を超える偏心量での使用は、変形・かじり・油漏れ等の原因になります。
3. 本表およびグラフは参考値です。極力、余裕を持った設計をしてください。

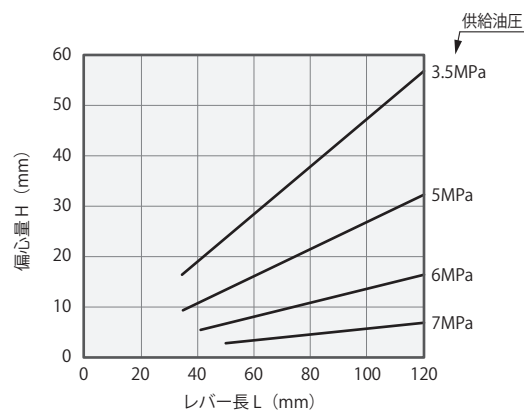
LJV0400								
供給油圧 (MPa)	偏心許容量H(mm) ■内は使用不可範囲							
	レバー長さL(mm)							
	L=25	L=30	L=36.5	L=40	L=50	L=60	L=80	L=100
7	■	■	2	2	3	3	4	5
6	■	4	5	5	6	8	11	13
5	7	8	10	11	13	16	21	26
3.5	12	14	17	19	23	28	37	47



LJV0480								
供給油圧 (MPa)	偏心許容量H(mm) ■内は使用不可範囲							
	レバー長さL(mm)							
	L=30	L=35	L=42	L=50	L=60	L=80	L=100	L=120
7	■	■	2	2	3	4	5	6
6	■	4	5	6	7	9	12	14
5	7	8	10	12	14	19	23	28
3.5	13	15	17	20	24	32	40	48



LJV0550								
供給油圧 (MPa)	偏心許容量H(mm) ■内は使用不可範囲							
	レバー長さL(mm)							
	L=35	L=40	L=50	L=60	L=70	L=80	L=100	L=120
7	■	■	3	3	4	5	6	7
6	■	6	7	8	10	11	13	16
5	9	11	13	16	19	22	27	32
3.5	17	19	24	28	33	38	47	57



- ハイパワー
シリーズ
- エアシリーズ
- 油圧シリーズ
- バルブ・カプラ
ハイドロユニット
- 手動機器
アクセサリ
- 注意事項・その他

- ホールクランプ
SFA/SFC
- スイングクランプ

LHA [複動](#)

LHC [複動](#)

LHD [複動](#)

LHS [複動](#)

LHV [複動](#)

LHW [複動](#)

LG/LT [単動](#)

LGV [単動](#)

TLV-2 [複動](#)

TLA-2 [複動](#)

TLB-2 [複動](#)

TLA-1 [単動](#)
- リンククランプ

LKA [複動](#)

LKC [複動](#)

LKK [複動](#)

LKV [複動](#)

LKW [複動](#)

LJ/LM [単動](#)

LJV [単動](#)

TMV-2 [複動](#)

TMA-2 [複動](#)

TMA-1 [単動](#)

LFA/LFW [複動](#)
- サイドクランプ
LSA/LSE
- ワークサポート

LD

LC

LCW

TNC

TC
- リフトシリンダ

LLV

LLW
- リニアシリンダ/
コンバクトシリンダ

LL/LLR/LLU

DP

DR

DS

DT
- ブロックシリンダ
DBA/DBC
- センタリングバイス
FVA/FVC/FVD
- コントロールバルブ

BZL

BZT

BZX/JZG

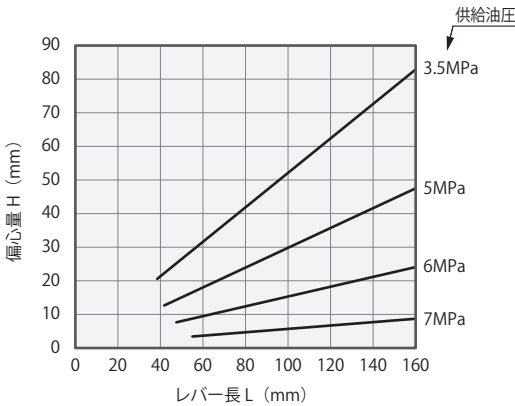
BZS
- パレットクランプ
VS/VT
- 拡張ロケートピン

VFH

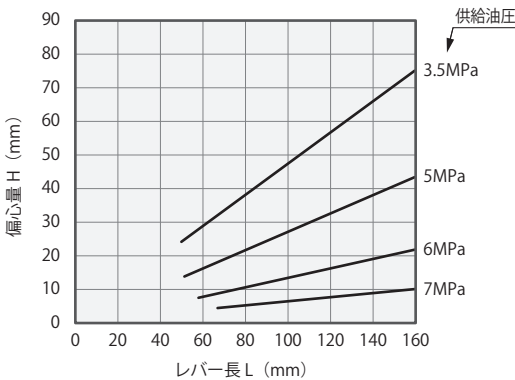
VFL/VFM

VFJ/VFK
- ロケートシリンダ
VFP
- プルスタッドクランプ
FP/FQ
- カスタムメイド
パネシリンダ
DWA/DWB

LJV0650								
供給油圧 (MPa)	偏心許容量H(mm) ■内は使用不可範囲							
	レバー長さL(mm)							
	L=40	L=50	L=56.5	L=80	L=100	L=120	L=140	L=160
7			4	5	6	7	8	9
6		8	9	12	15	18	21	24
5		15	17	24	30	36	42	48
3.5	21	27	30	42	52	62	73	83

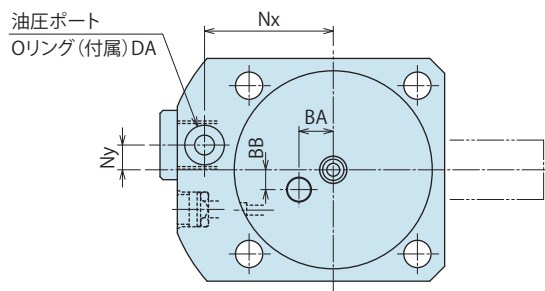
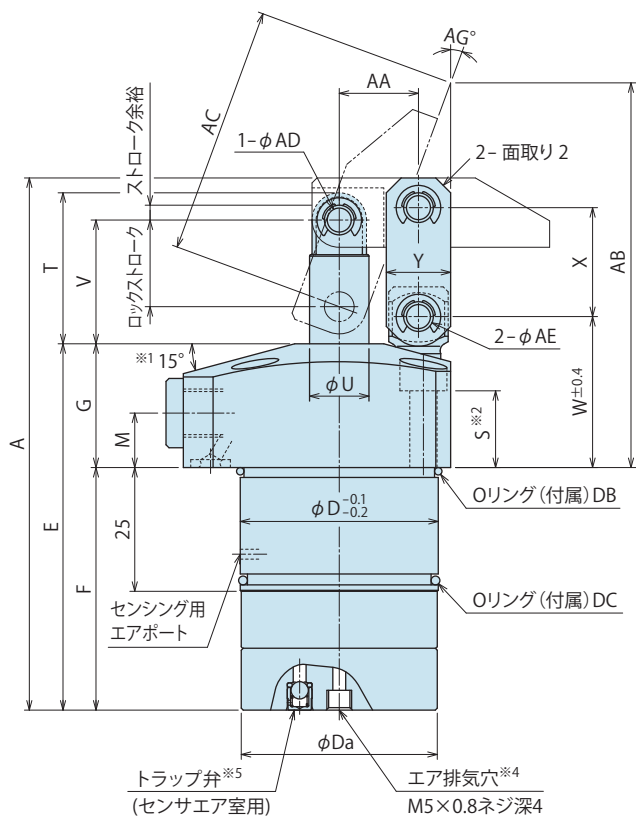
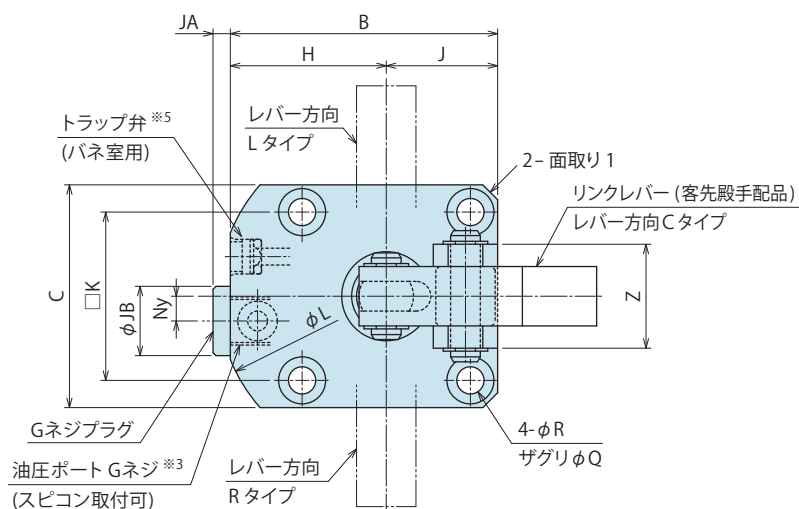


LJV0750								
供給油圧 (MPa)	偏心許容量H(mm) ■内は使用不可範囲							
	レバー長さL(mm)							
	L=50	L=60	L=67.5	L=80	L=100	L=120	L=140	L=160
7			5	5	7	8	9	10
6		8	9	11	14	16	19	22
5		16	18	22	27	33	38	44
3.5	24	29	33	38	47	57	66	75

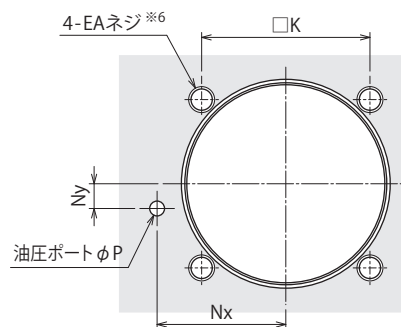


● 外形寸法 (5 動作確認記号 E/H/J は全て同寸法です。)

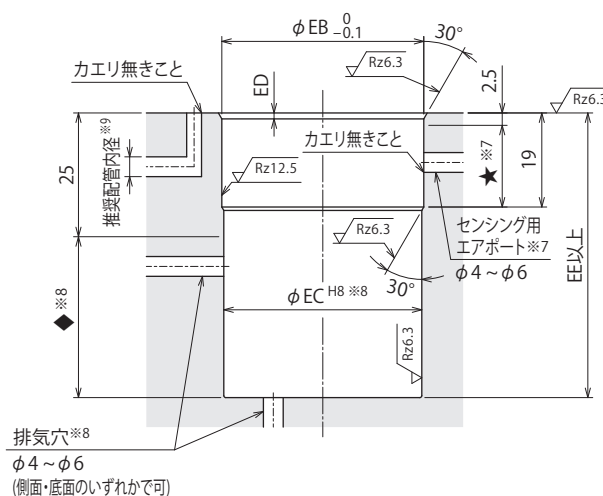
※本図はLJV-CC□のロック状態を示します。



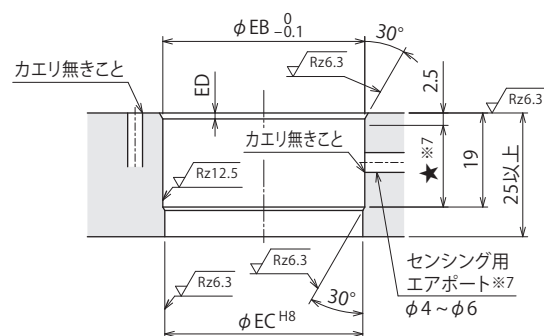
● 取付部加工寸法



止まり穴の場合



通し穴の場合



注意事項

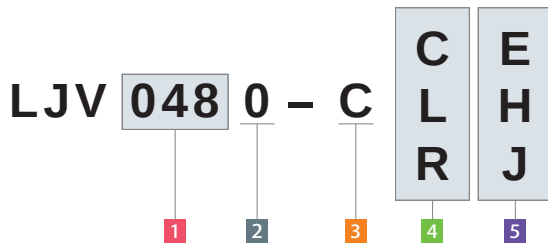
- ※6. 取付ボルト用の EA ネジ深さは S 寸法を参考に取付高さに応じ、決定願います。
- ※7. センシング用エアポートは、★部範囲内に設けてください。
- ※8. 排気穴は側面もしくは、底面のいずれかに設けてください。
側面に設ける場合は◆部範囲内に、底面に設ける場合は φEC 範囲内としてください。

注意事項

- ※1. フランジ傾斜角度は、LJV0650 のみ 12° となります。
- ※2. 取付ボルトは付属しておりません。S 寸法を参考に取付高さに応じ、手配してください。
- ※3. スピードコントロールバルブは付属しておりません。P.1211 を参考に別途手配してください。
- ※4. エア排気穴は必ず大気開放とし、エア排気穴からクーラント・切粉等が侵入しないようにしてください。クーラント等が直接かかる場合はネジを使用して配管等の処置で侵入防止を行ってください。但し、エア排気穴を塞がないようにしてください。
- ※5. トラップ弁は塞がずに大気開放としてください。

1. レバー取付用のピンは、付属のピン (φADf6, φAEf6, HRC60 相当) をご使用願います。

● 形式表示



(形式例：LJV0480-CCE、LJV0750-CLJ)

- 1 ボディサイズ
- 2 デザインNo.
- 3 配管方式
- 4 レバー方向
- 5 動作確認記号

● 外形寸法表および取付部加工寸法表

(mm)

形式	LJV0400-C□□	LJV0480-C□□	LJV0550-C□□	LJV0650-C□□	LJV0750-C□□
全ストローク	20.5	23.5	26	29.5	35
ロックストローク	17.5	20.5	23	26.5	32
ストローク余裕	3	3	3	3	3
A	107.5	119	135	148.5	175
B	54	61	69	81	94.5
C	45	51	60	70	85
D	40	48	55	65	75
Da	39.6	47.6	54.6	64.6	74.6
E	74	80	89.5	94.5	108
F	49	52	61.5	64.5	71
G	25	28	28	30	37
H	31.5	35.5	39	46	52
J	22.5	25.5	30	35	42.5
K	34	40	47	55	63
L	68	73	80	94	106
M	11	12	12	13	16
Nx	26	30	33.5	39.5	45
Ny	5		0		
P		3		5	
Q	9.5		11		14
R	5.5		6.8		9
S	15.5	17.5	15	15.5	19.5
T	30.5	35	37.5	45	55
U	12	14	16	18	22
V	25	29	31.5	37	45
W	30.5	34.5	35.5	39	48
X	22	26	30	35.5	43.5
Y	13	13	16	19	25
Z	21	21	28	37	40
面取り 1	C3	C3	(φ80)	(φ94)	(φ106)
面取り 2	C3	C3	C3	C5	C5
AA	16	18.5	21	24.5	30
AB	77.7	92.4	101.9	111.4	130.8
AC	50.2	61.2	71.7	78.7	90.8
AD	6	6	6	8	10
AE	6	6	8	10	12
AG	20.2	18.9	19.9	20.5	21.4
BA	6.9	4	4	4	7.1
BB	4	6.9	6.9	6.9	7.1
EA	M5×0.8		M6		M8
EB	40.8	49	56	66	76
EC	40 ^{+0.039} ₀	48 ^{+0.039} ₀	55 ^{+0.046} ₀	65 ^{+0.046} ₀	75 ^{+0.046} ₀
ED	1	1	1	1	1.5
EE	49.5	52.5	62	65	71.5
JA		3.5		4.5	
JB		14		19	
油圧ポート : Gネジ		G1/8		G1/4	
Oリング	DA	OR NBR-90 P5-N		OR NBR-90 P7-N	
	DB	38×1.5 (内径×線径)	AS568-031(70)	AS568-034(70)	AS568-037(70) AS568-040(70)
	DC	AS568-028(70)	AS568-031(70)	AS568-033(70)	AS568-036(70) AS568-039(70)
推奨配管内径※9		φ6		φ8	

注意事項 ※9. 推奨配管内径は参考値です。クランプ台数や配管距離に応じて適宜変更願います。

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ SFA/SFC
スینگクランプ LHA (複動) LHC (複動) LHD (複動) LHS (複動) LHV (複動) LHW (複動) LG/LT (単動) LGV (単動) TLV-2 (複動) TLA-2 (複動) TLB-2 (複動) TLA-1 (単動)

リンククランプ LKA (複動) LKC (複動) LKK (複動) LKV (複動) LKW (複動) LJ/LM (単動) LJV (単動) TMV-2 (複動) TMA-2 (複動) TMA-1 (単動) LFA/LFW (複動)

サイドクランプ LSA/LSE

ワークサポート LD LC LCW TNC TC

リフトシリンダ LLV LLW

リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ LL/LLR/LLU DP DR DS DT

ブロックシリンダ DBA/DBC

センタリングバイス FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ BZL BZT BZX/JZG BZS

パレットクランプ VS/VT

拡張ロケートピン VFH VFL/VFM VFJ/VFK

ロケートシリンダ VFP

ブルスタッドクランプ FP/FQ

カスタムメイド パネシリンダ DWA/DWB

● リンクレバー設計寸法

※リンクレバーの設計製作時に参考としてください。

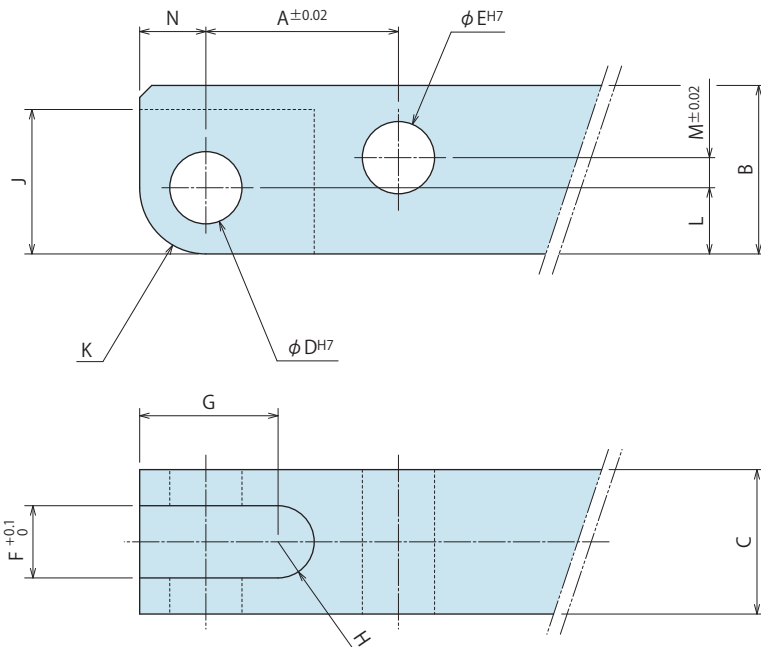
対応形式表示

LJV 0 - C

L
C
R

E
H
J

1 ボディサイズ



● リンクレバー設計寸法表

(mm)

対応機器形式	LJV0400	LJV0480	LJV0550	LJV0650	LJV0750
A	16	18.5	21	24.5	30
B	14	16	20	25	32
C	12 _{-0.3} ⁰	12 _{-0.3} ⁰	16 _{-0.3} ⁰	19 _{-0.3} ⁰	22 _{-0.3} ⁰
D	6 ₀ ^{+0.012}	6 ₀ ^{+0.012}	6 ₀ ^{+0.012}	8 ₀ ^{+0.015}	10 ₀ ^{+0.015}
E	6 ₀ ^{+0.012}	6 ₀ ^{+0.012}	8 ₀ ^{+0.015}	10 ₀ ^{+0.015}	12 ₀ ^{+0.018}
F	6	6	8	10	11
G	11.5	13	12.5	16	20
H	R3	R3	R4	R5	R5.5
J	12	13	13	17.5	22
K	R5.5	R6	R6	R8	R10
L	5.5	6	6	8	10
M	2.5	3.5	6	7.5	9.5
N	5.5	6	6	8	10

注意事項

1. リンクレバー長さは能力線図を考慮の上設計製作してください。
2. 上表と異なる寸法でリンクレバーを製作すると、クランプ力が仕様を満たさない・変形する・かじりが発生する等、動作不良の原因になる場合があります。
3. レバー取付用のピンは、付属のピン(φADf6、φAEf6、HRC60相当)をご使用願います。(φAD、φAE寸法はLJVの各外形寸法を参照してください。)

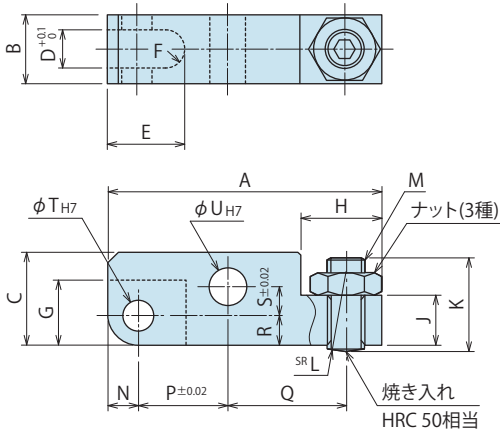
● アクセサリ：リンクレバー(LZ-LJ1)

形式表示

LZ 048 0 - LJ1

サイズ (右表参照)

デザイン No. (製品のバージョン情報)



形式	(mm)				
形式	LZ0400-LJ1	LZ0480-LJ1	LZ0550-LJ1	LZ0650-LJ1	LZ0750-LJ1
対応機器形式	LJV0400	LJV0480	LJV0550	LJV0650	LJV0750
A	48	54	64	74.5	88.5
B	12 ⁰ _{-0.3}	12 ⁰ _{-0.3}	16 ⁰ _{-0.3}	19 ⁰ _{-0.3}	22 ⁰ _{-0.3}
C	14	16	20	25	32
D	6	6	8	10	11
E	14.5	16	16.5	21	25.5
F	R3	R3	R4	R5	R5.5
G	12	13	13	17.5	22
H	13	13	17	22	25
J	7.5	8	10	13	16
K	16	18	22	27	31
L	10	10	15	20	30
M	M6	M6	M8	M10	M12
N	5.5	6	6	8	10
P	16	18.5	21	24.5	30
Q	20.5	23.5	29	32	37.5
R	5.5	6	6	8	10
S	2.5	3.5	6	7.5	9.5
T	6 ^{+0.012} ₀	6 ^{+0.012} ₀	6 ^{+0.012} ₀	8 ^{+0.015} ₀	10 ^{+0.015} ₀
U	6 ^{+0.012} ₀	6 ^{+0.012} ₀	8 ^{+0.015} ₀	10 ^{+0.015} ₀	12 ^{+0.018} ₀

注意事項

1. 材質 S45C 表面処理：黒色酸化皮膜
2. 必要に応じ、先端部を追加加工および処理をしてご使用ください。
3. レバー取付用のピンは、クランプ本体に付属のピン (φADf6、φAEf6、HRC60相当) をご使用ください。

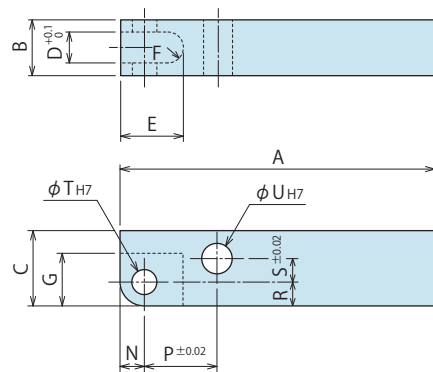
● アクセサリ：素材リンクレバー(LZ-LJ2)

形式表示

LZ 048 0 - LJ2

サイズ (右表参照)

デザイン No. (製品のバージョン情報)



形式	(mm)				
形式	LZ0400-LJ2	LZ0480-LJ2	LZ0550-LJ2	LZ0650-LJ2	LZ0750-LJ2
対応機器形式	LJV0400	LJV0480	LJV0550	LJV0650	LJV0750
A	75	85	90	105	110
B	12 ⁰ _{-0.3}	12 ⁰ _{-0.3}	16 ⁰ _{-0.3}	19 ⁰ _{-0.3}	22 ⁰ _{-0.3}
C	14	16	20	25	32
D	6	6	8	10	11
E	14.5	16	16.5	21	25.5
F	R3	R3	R4	R5	R5.5
G	12	13	13	17.5	22
N	5.5	6	6	8	10
P	16	18.5	21	24.5	30
R	5.5	6	6	8	10
S	2.5	3.5	6	7.5	9.5
T	6 ^{+0.012} ₀	6 ^{+0.012} ₀	6 ^{+0.012} ₀	8 ^{+0.015} ₀	10 ^{+0.015} ₀
U	6 ^{+0.012} ₀	6 ^{+0.012} ₀	8 ^{+0.015} ₀	10 ^{+0.015} ₀	12 ^{+0.018} ₀

注意事項

1. 材質 S45C 表面処理：黒色酸化皮膜
2. 必要に応じ、先端部を追加加工および処理をしてご使用ください。
3. レバー取付用のピンは、クランプ本体に付属のピン (φADf6、φAEf6、HRC60相当) をご使用ください。

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他
ホールクランプ SFA/SFC
スイングクランプ
LHA 複動
LHC 複動
LHD 複動
LHS 複動
LHV 複動
LHW 複動
LG/LT 単動
LGV 単動
TLV-2 複動
TLA-2 複動
TLB-2 複動
TLA-1 単動
リンククランプ
LKA 複動
LKC 複動
LKK 複動
LKV 複動
LKW 複動
LJ/LM 単動
LJV 単動
TMV-2 複動
TMA-2 複動
TMA-1 単動
LFA/LFW 複動
サイドクランプ LSA/LSE
ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC
リフトシリンダ
LLV
LLW
リニアシリンダ/ コンバートシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT
ブロックシリンダ
DBA/DBC
センタリングパイプ
FVA/FVC/FVD
コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS
パレットクランプ
VS/VT
拡張ロケットピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK
ロケットシリンダ
VFP
プルスタッドクランプ
FP/FQ
カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB

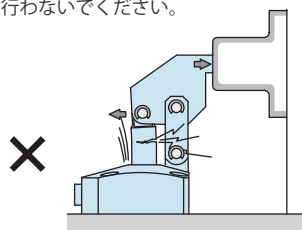
● 注意事項

● 設計上の注意事項

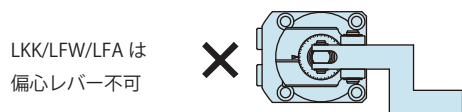
- 仕様の確認
 - 各製品の仕様を確認の上、ご使用ください。
- 回路設計時の考慮
 - 油圧回路の設計に当っては、「油圧シリンダの速度制御回路と注意事項」(P.1682 参照)をよく読み、適切な回路を設計してください。回路設計を誤ると機器の誤動作、破損などが発生する場合があります。
 - ロック側・リリース側へ同時に油圧供給される可能性のある制御は絶対にしないでください。

3) リンクレバーの設計上の注意

- ピストンロッドには、軸方向以外の力が掛からないようにしてください。下図のような使用方法是ピストンロッドに大きな曲げ応力が発生しますので、絶対に行わないでください。



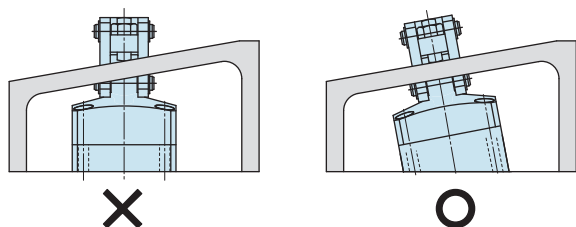
- リンク部に偏荷重がかかる場合、「許容偏心量グラフ」の許容範囲内で使用してください。
LKK/LFW/LFA は偏心レバーは使用できません。偏荷重により機器の破損などが発生する場合があります。



- 溶接ジグ等に使用時は、ピストンロッド・リンクプレート摺動面を保護
 - スパッタ等が摺動面に付着すると、動作不良・油漏れの原因となります。

5) ワーク傾斜面をクランプする場合

- クランプ面とクランプ取付面が平行となるようにご計画ください。



6) ドライ環境で使用する場合

- リンクピンが焼付く場合があります。定期的にグリスアップを行うか、特殊ピン仕様にしてください。特殊ピン仕様についてはお問い合わせください。

7) LKA-M/N、LKV、LKW、LJV、TMV-2、LFW 使用時について

- エアセンサにてセンシングを行う LKA-M/N、LKV、LKW、LJV、TMV-2、LFW 使用時は設計時・施工時・使用時の注意事項(下記記載ページ)を必ずご確認ください。

- ・LKA-M/N は、P.771 を参照
- ・LKV は、P.807 を参照
- ・LKW は、P.827 を参照
- ・LJV は、P.867 を参照
- ・TMV-2 は、P.883 を参照
- ・LFW は、P.923 を参照

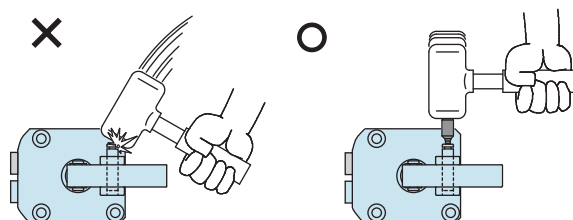
● 取付施工上の注意事項

- 使用流体の確認
 - 必ず油圧作動油リスト (P.1681) を参考に適切な油をご使用ください。
- 本体の取付
 - 本体の取付は六角穴付ボルト (強度区分 12.9) を全ての取付ボルト穴の数だけ使用し、下表のトルクで締付けてください。
推奨トルク以上で締付けると座面の陥没・ボルトの焼付の原因となります。

	形式	取付ボルト呼び	締付トルク (N・m)
LKA LKC LKK LKV LKW LFW LFA	LKA0360 LKK0360	M4×0.7	4.0
	LKA0400 / LKC0400 LKK0400 LKV0400 / LKW0401	M5×0.8	8.0
	LKA0480 / LKC0480 LKK0480 LKV0480 / LKW0481 LFW0480 / LFA0480	M5×0.8	8.0
	LKA0550 / LKC0550 LKK0550 LKV0550 / LKW0551 LFW0550 / LFA0550	M6	14
	LKA0650 / LKC0650 LKK0650 LKV0650 / LKW0651 LFW0650 / LFA0650	M6	14
	LKA0750 LKV0750 / LKW0751 LFW0750 / LFA0750	M8	33
	LKA0900	M10	65
	LKA1050	M12	114
	LJ0302/L M0300	M4×0.7	3.2
	LJ0362/L M0360	M4×0.7	3.2
LJ/LM LJV	LJ0402/L M0400 LJV0400	M5×0.8	6.3
	LJ0482/L M0480 LJV0480	M5×0.8	6.3
	LJ0552/L M0550 LJV0550	M6	10
	LJ0652/L M0650 LJV0650	M6	10
	LH0752/L M0750 LJV0750	M8	25
	LJ0902	M10	58.8
	LJ1052	M12	98
	TMA0250-2/TMA0250-1	M5×0.8	6.9
	TMA0400-2/TMA0400-1 TMV0400-2	M5×0.8	6.9
	TMA0600-2/TMA0600-1 TMV0600-2	M6	11.8
TMA-2 TMA-1 TMV-2	TMA1000-2/TMA1000-1 TMV1000-2	M8	25
	TMA1600-2/TMA1600-1 TMV1600-2	M10	58.8
	TMA2500-2/TMA2500-1	M12	98
	TMA3200-2/TMA3200-1	M12	98

3) リンクレバーの取付け・取外し

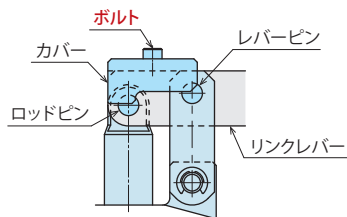
- リンクピン挿入時、ハンマでピンを直接叩かないで下さい。
ハンマで叩いて装着する場合は、必ずピンの止輪溝より小さい径の当て板等を使用してください。



- クイックチェンジレバータイプ A のボルトは下表のトルクで締付けてください。

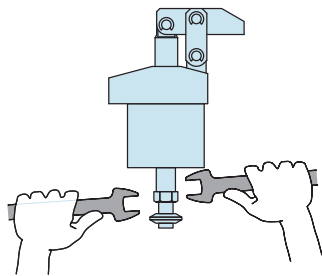
クイックチェンジレバータイプ A

形式	ボルト呼び	締付トルク (N・m)
LKA0360-□□-A LKK0360-□□-A LJ0362-□□-A / LM0360-□□-A	M3×0.5	1.3
LKA0400-□□-A / LKC0400-□□-A LKK0400-□□-A LKV0400-C□E-A / LKW0401-□□-A LJ0402-□□-A / LM0400-□□-A	M3×0.5	1.3
LKA0480-□□-A / LKC0480-□□-A LKK0480-□□-A LKV0480-C□E-A / LKW0481-□□-A LJ0482-□□-A / LM0480-□□-A	M3×0.5	1.3
LKA0550-□□-A / LKC0550-□□-A LKK0550-□□-A LKV0550-C□E-A / LKW0551-□□-A LJ0552-□□-A / LM0550-□□-A	M3×0.5	1.3
LKA0650-□□-A / LKC0650-□□-A LKK0650-□□-A LKV0650-C□E-A / LKW0651-□□-A LJ0652-□□-A / LM0650-□□-A	M4×0.7	3.2
LKA0750-□□-A LKV0750-C□E-A / LKW0751-□□-A LJ0752-□□-A / LM0750-□□-A	M4×0.7	3.2
LKA0900-□□-A	M5×0.8	6.3
LKA1050-□□-A	M5×0.8	6.3



4) ドグ検知両ロッドタイプ (-D) についての注意

- ドグの取付けの際、ピストンロッドの廻り止めを行ってください。ロッド先端の二面巾をスパナで固定し、ドグの取付けを行ってください。



形式	ネジサイズ	締付トルク (N・m)
LKA0360-□□D	M4×0.7	3.2
LKA0400-□□D	M6	10
LKA0480-□□D	M8	25
LFA0480-□□D	M8	25
LKA0550-□□D	M8	25
LFA0550-□□D	M8	25
LKA0650-□□D	M8	25
LFA0650-□□D	M8	25
LKA0750-□□D	M10	50
LFA0750-□□D	M10	50
LKA0900-□□D	M10	50
LKA1050-□□D	M10	50

5) 速度の調整

- 全動作時間が 1 秒以上になるように速度を調整してください。クランプの動作が極端に速い場合は、各部の摩耗や損傷を早め、故障の原因となります。
- 必ず回路中のエア抜きを行ってから速度調整を行ってください。回路中にエアが混入していると正確な速度調整ができません。
- スピードコントロールバルブは低速側（流量小）から徐々に高速側（流量大）の方に回して調整してください。

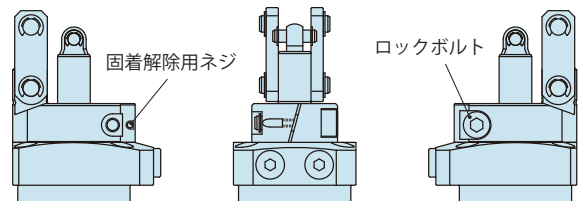
6) LKKのみ ピボットブロックの固定と固定解除

- ピボットブロックは、ロックボルトを下表のトルクで締付けて固定してください。

形式	ロックボルト呼び	締付トルク (N・m)
LKK0360	M5×0.8	7.5
LKK0400	M6	14
LKK0480	M6	14
LKK0550	M8	33
LKK0650	M10	65

- ピボットブロックの固定解除は、ロックボルトを緩めてください。クーラント等の影響によりピボットブロックが固着している場合は、固着解除用ネジにホロセットをねじ込んで固着を解除してください。

形式	固着解除用ネジ呼び
LKK0360	M2.5×0.45
LKK0400	M2.5×0.45
LKK0480	M3×0.5
LKK0550	M3×0.5
LKK0650	M4×0.7

ハイパワー
シリーズ

エアシリーズ

油圧シリーズ

バルブ・カプラ
ハイドロユニット手動機器
アクセサリ

注意事項・その他

ホールクランプ
SFA/SFC

スイングクランプ

LHA 複動

LHC 複動

LHD 複動

LHS 複動

LHV 複動

LHW 複動

LG/LT 単動

LGV 単動

TLV-2 複動

TLA-2 複動

TLB-2 複動

TLA-1 単動

リンククランプ

LKA 複動

LKC 複動

LKK 複動

LKV 複動

LKW 複動

LJ/LM 単動

LJV 単動

TMV-2 複動

TMA-2 複動

TMA-1 単動

LFA/LFW 複動

サイドクランプ

LSA/LSE

ワークサポート

LD

LC

LCW

TNC

TC

リフトシリンダ

LLV

LLW

リニアシリンダ/
コンパクトシリンダ

LL/LLR/LLU

DP

DR

DS

DT

ブロックシリンダ

DBA/DBC

センタリングパイプ

FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ

BZL

BZT

BZX/JZG

BZS

パレットクランプ

VS/VT

拡張ロケットピン

VFH

VFL/VFM

VFJ/VFK

ロケットシリンダ

VFP

プルスタッドクランプ

FP/FQ

カスタムメイド
パネシリンダ

DWA/DWB

※ 共通注意事項は P.1681 を参照してください。

・取付施工上の注意事項 ・油圧作動油リスト ・油圧シリンダの速度制御回路と注意事項
・取り扱い上の注意事項 ・保守 / 点検 ・保証

● 注意事項

● 取付施工上の注意事項（油圧シリーズ共通）

1) 使用流体の確認

- 必ず「油圧作動油リスト」を参考に適切な油をご使用ください。

2) 配管前の処置

- 配管・管継手・ジグの油穴等は、十分なフラッシングで清浄なものをご使用ください。
- 回路中のゴミや切粉等が、油漏れや動作不良の原因になります。
- 一部バルブを除く当社製品には油圧系統や配管等のゴミ・不純物侵入を防止する機能は設けていません。

3) シールテープの巻き方

- ネジ部先端を 1 ～ 2 山残して巻いてください。
- シールテープの切れ端が油漏れや動作不良の原因になります。
- 配管施工時は機器内に異物を混入させないため、作業環境を清浄にして、適正な施工を行ってください。

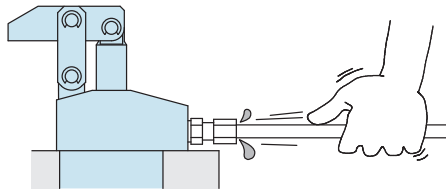
4) 油圧回路中のエア抜き

- 油圧回路中に多量のエアが混入したまま使用すると、動作時間が異常に長くなります。
配管施工後または、ポンプの油タンクが空になった状態でエアを送り込んだ場合は、必ず以下の手順でエア抜きを実施してください。

① 油圧回路の供給圧力を 2MPa 以下にしてください。

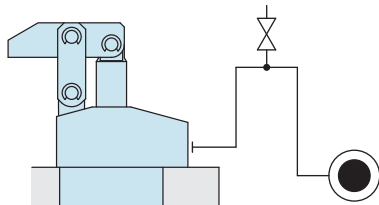
② クランプ・シリンダ・ワークサポート等が一番近い配管継手部の袋ナットを 1 回転緩めてください。

③ 配管を左右に揺すり、配管継手の喰込み部を緩めてください。
エアの混入した作動油が出てきます。



④ エアの混じりが無くなれば、袋ナットを締付けます。

⑤ さらに、油圧回路中の最上部および、末端のクランプ付近でエア抜きすると、より効果的です。（ガスケットタイプを使用する場合は、油圧回路中の最上部付近にエア抜き弁を設置してください。



5) 緩みのチェックと増し締め

- 機器取付け当初は初期なじみによりボルト、ナット等の締付け力が低下します。
適宜緩みのチェックと増し締めを行ってください。

● 油圧作動油リスト

ISO 粘度グレード ISO-VG-32		
メーカー名	耐摩耗性作動油	多目的汎用油
昭和シェル石油	テラス S2 M32	モーリナ S2B 32
出光興産	ダフニーハイドロリックフルイド 32	ダフニースーパーマルチオイル 32
JX 日鉱日石エネルギー	スーパーハイランド 32	スーパーマルチパス DX 32
コスモ石油	コスモハイドロ AW32	コスモ NEW マイティスーパー 32
エクソンモービル	モービル DTE24	モービル DTE24 ライト
松村石油	ハイドール AW32	
カストロール	ハイスピン AWS32	

注意事項 表中の製品により海外で入手困難な場合がありますので、海外でご購入の際には各メーカーにお問合せください。

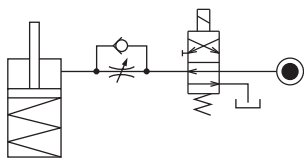
● 油圧シリンダの速度制御回路と注意事項



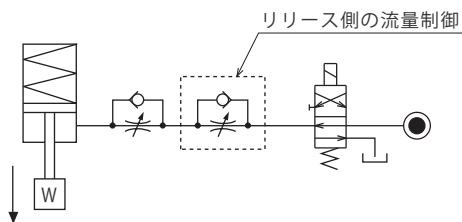
油圧シリンダの動作速度を制御する場合の回路は以下のことに注意して、油圧回路設計をしてください。
回路設計を誤ると、機器の誤動作、破損などが発生する場合がありますので、事前の検討を十分行ってください。

● 単動シリンダの速度制御回路

スプリングリターン式の単動シリンダは、リリース時の回路流量が少ないとリリース動作不良（スティック動作や動作停止）が発生したり、リリース時間が極端に長くなります。チェック弁付流量調整弁を使用し、ロック動作時の流量のみ制御してください。また、動作速度に制約のあるシリンダ（スイングクランプ、油圧コンパクトシリンダ等）の制御は、なるべくシリンダ毎に調整弁を設置してください。



リリース時に、リリース動作方向に負荷がかかりシリンダを破損させる恐れのある場合は、チェック弁付流量調整弁を使用し、リリース側の流量も制御してください。（スイングクランプで、リリース時にレバー重量がかかる場合も該当）



● 複動シリンダの速度制御回路

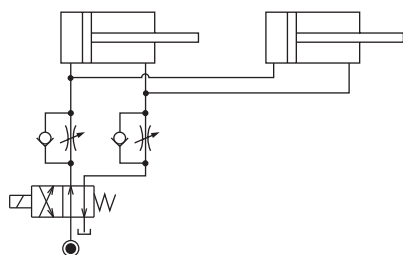
複動シリンダの速度を制御（LKE/LSE/TLA/TLB/TMA/TLV/TMV/TTAを除く）する場合、ロック側・リリース側共にメータアウト回路としてください。メータイン回路では、油圧回路中の混入エアの影響を受けやすく、速度制御が困難です。

但し、LKE、LSE、TLA、TLB、TMA、TLV、TMV、TTAを制御する場合、ロック側・リリース側共にメータイン回路としてください。

LKEはP.75、LSEはP.954を参照願います。

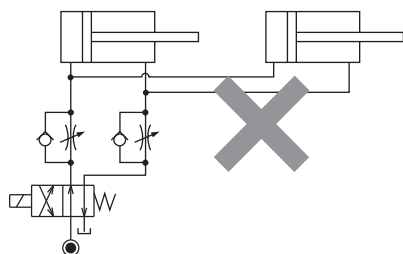
TLA、TLB、TMA、TLV、TMV、TTAの場合、メータアウト回路では異常高圧が発生し、油漏れや故障の原因となります。

【メータアウト回路】（LKE/LSE/TLA/TLB/TMA/TLV/TMV/TTAを除く）



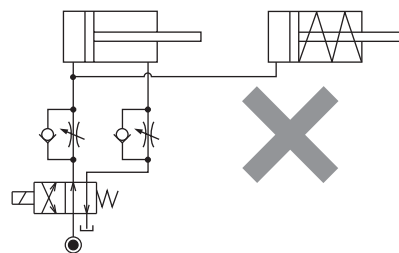
【メータイン回路】

（LKE/LSE/TLA/TLB/TMA/TLV/TMV/TTAはメータイン回路としてください。）



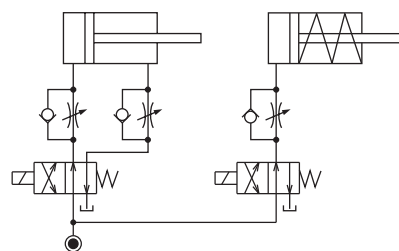
但し、メータアウト回路の場合、次のことを考慮して油圧回路設計を行ってください。

- ① 複動シリンダと単動シリンダを併用するシステムでは、基本的には同一回路での制御はしないでください。
単動シリンダのリリース動作不良が発生したり、リリース動作時間が極端に長くなります。



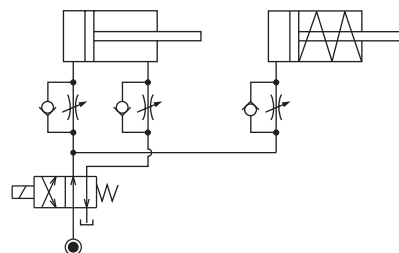
単動シリンダと複動シリンダを併用する場合は、次の回路を参考にしてください。

○制御回路を個別にする。

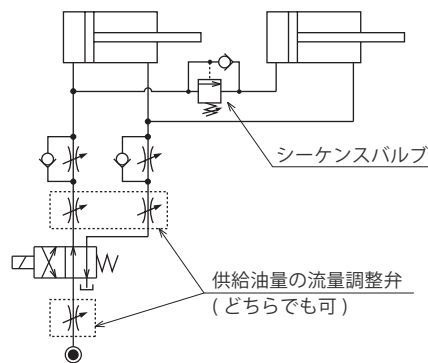


○複動シリンダ制御回路の影響を受けにくくする。

但し、タンクラインの背圧によっては、複動シリンダ動作後に単動シリンダが動作することがあります。



- ② メータアウト回路の場合、供給油量によってはシリンダ動作中に回路内圧が上昇する恐れがあります。流量調整弁を用いてシリンダへ供給される油量を予め少なくすることで、回路内圧の上昇を防止することが可能です。特に、シーケンスバルブや動作確認の圧力スイッチを設置するシステムでは、設定圧以上の回路内圧が発生すると、システムが成立しなくなるため、十分考慮してください。



● 注意事項

● 取扱い上の注意事項

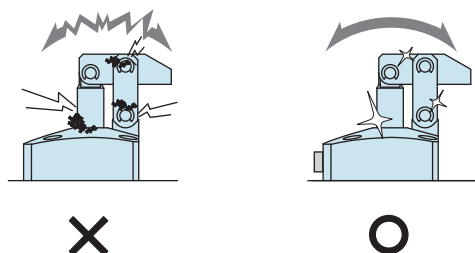
- 1) 十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
- 油空圧機器を使用した機械・装置の取扱い、メンテナンス等は、十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- 2) 安全を確保するまでは、機器の取扱い、取外しを絶対に行わないでください。
 - ① 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置等がなされていることを確認してから行ってください。
 - ② 機器を取外すときは、上述の安全処置がとられていることの確認を行い、圧力源や電源を遮断し、油圧・エア回路中に圧力が無くなったことを確認してから行ってください。
 - ③ 運転停止直後の機器の取外しは、機器の温度が上がっている場合がありますので、温度が下がってから行ってください。
 - ④ 機械・装置を再起動する場合は、ボルトや各部の異常がないか確認した後に行ってください。
- 3) クランプ（シリンダ）動作中は、クランプ（シリンダ）に触れないでください。手を挟まれ、けがの原因になります。



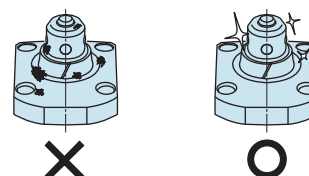
- 4) 分解や改造はしないでください。
- 分解や改造をされますと、保証期間内であっても保証ができなくなります。

● 保守・点検

- 1) 機器の取外しと圧力源の遮断
 - 機器を取外す時は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置等がなされていることを確認し、圧力源や電源を遮断して油圧・エア回路中に圧力が無くなったことを確認した後に行ってください。
 - 再起動する場合は、ボルトや各部の異常が無いか確認した後に行ってください。
- 2) ピストンロッド、プランジャ周りは定期的に清掃してください。
 - 表面に汚れが固着したまま使用すると、パッキン・シール等を傷付け、動作不良や油・エア漏れの原因となります。



- 3) 位置決め機器 (VS/VT/VFH/VFL/VFM/VFJ/VFK/VFP/WVS/VWH/VWM/VWK/VX/VXE/VXF) の各基準面（テーパ基準面や着座面）は定期的に清掃してください。
 - 位置決め機器 (VFP/VX/VXE/VXF を除く) にはクリーニング機構（エアブロー機構）があり、切粉やクーラントの除去を行うことが出来ます。但し、固着した切粉や粘性のあるクーラント等除去できない場合もありますので、ワーク・パレット装着時は異物が無いことを確認して装着してください。
 - 汚れが固着したまま使用すると、位置決め精度不良や動作不良、油漏れ・エア漏れの原因になります。



- 4) カブラにて切離しを行う場合、長期間使用されますと回路中にエアが混入しますので、定期的にエア抜きを行ってください。
- 5) 配管・取付ボルト・ナット・止め輪・シリンダ等に緩みがないか定期的に増締め点検を行ってください。
- 6) 作動油に劣化がないか確認してください。
- 7) 動作はスムーズで異音等がないか確認してください。
 - 特に、長期間放置した後、再起動する場合は正しく動作することを確認してください。
- 8) 製品を保管する場合は、直射日光・水分等から保護して冷暗所にて行ってください。
- 9) オーバーホール・修理は当社にお申しつけください。

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

注意事項
取付施工上の注意 (油圧シリーズ)
油圧作動油リスト
油圧シリンダの 速度制御回路
取付施工上の注意
保守・点検
保証

表記改定のお知らせ

会社案内
会社概要
取扱商品
沿革

索引
形式検索

営業拠点

● 保証

1) 保証期間

- 製品の保証期間は、当社工場出荷後 1 年半、または使用開始後 1 年のうち短い方が適用されます。

2) 保証範囲

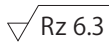
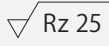
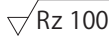
- 保証期間中に当社の責任によって故障や不適合を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または、修理を当社の責任で行います。ただし、次の項目に該当するような製品の管理にかかわる故障などは、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ① 決められた保守・点検が行われていない場合。
- ② 使用者側の判断により、不適合状態のまま使用され、これに起因する故障などの場合。
- ③ 使用者側の不適切な使用や取扱いによる場合。
(第三者の不当行為による破損なども含みます。)
- ④ 故障の原因が当社製品以外の事由による場合。
- ⑤ 当社が行った以外の改造や修理、また当社が了承・確認していない改造や修理に起因する場合。
- ⑥ その他、天災や災害に起因し、当社の責任でない場合。
- ⑦ 消耗や劣化に起因する部品費用または交換費用
(ゴム・プラスチック・シール材および一部の電装品など)

なお、製品の故障によって誘発される損害は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

●表面粗さ(表面性状) 記号の表記改定

カタログ内の表面粗さ記号について、2021 年頃より下記の新表記に順次改定しています。

新表記 JIS B 0601：2013			旧表記 JIS B 0601：1982	
記号	最大高さ粗さ：Rz	算術平均粗さ：Ra (参考値)	記号	最大高さ粗さ：(Rmax)
	6.3	1.6		1.6S ~ 6.3S
	25	6.3		12.5S ~ 25S
	100	25		50S ~ 100S

● Oリング形式の表記改定

カタログ内の O リング形式について、2021 年頃より下記の新表記に順次改定しています。

● O リングの新旧表記比較

新表記 JIS B 2401-1：2012	旧表記 旧 JIS
OR NBR-70-1 P5-N	1AP5
OR NBR-70-1 P7-N	1AP7
OR NBR-70-1 P8-N	1AP8
OR NBR-90 P5-N	1BP5
OR NBR-90 P6-N	1BP6
OR NBR-90 P7-N	1BP7
OR NBR-90 P8-N	1BP8
OR NBR-90 P9-N	1BP9
OR NBR-90 P10-N	1BP10
OR NBR-90 P11-N	1BP11
OR NBR-90 P12-N	1BP12
OR NBR-90 P14-N	1BP14
OR NBR-90 P22A-N	1BP22A
OR NBR-90 P31.5-N	1BP31.5
OR NBR-90 P39-N	1BP39
OR NBR-90 P50-N	1BP50

新表記

OR NBR-70-1
※ NBR-90 ※ P 5 - N

1
2
3
4

旧表記

1A
1B P 5

1
2
3

※. はブランク (空白) を示します。

1 材料識別記号

NBR-70-1 / 1A : 一般用ニトリルゴム、タイプAデュロメータ硬さ70

NBR-90 / 1B : 一般用ニトリルゴム、タイプAデュロメータ硬さ90

2 種類の記号

P : 運動用

3 呼び番号

4 品質等級

N : 一般用

ハイパワー
シリーズ

エアシリーズ

油圧シリーズ

バルブ・カブラ
ハイドロユニット

手動機器
アクセサリ

注意事項・その他

注意事項

取付施工上の注意
(油圧シリーズ)

油圧作動油リスト

油圧シリンダの
速度制御回路

取付施工上の注意

保守・点検

保証

表記改定のお知らせ

会社案内

会社概要

取扱商品

沿革

索引

形式検索

営業拠点

Control Valve

コントロールバルブ

Model BZL

Model BZT

Model BZX

Model JZG

Model BZS

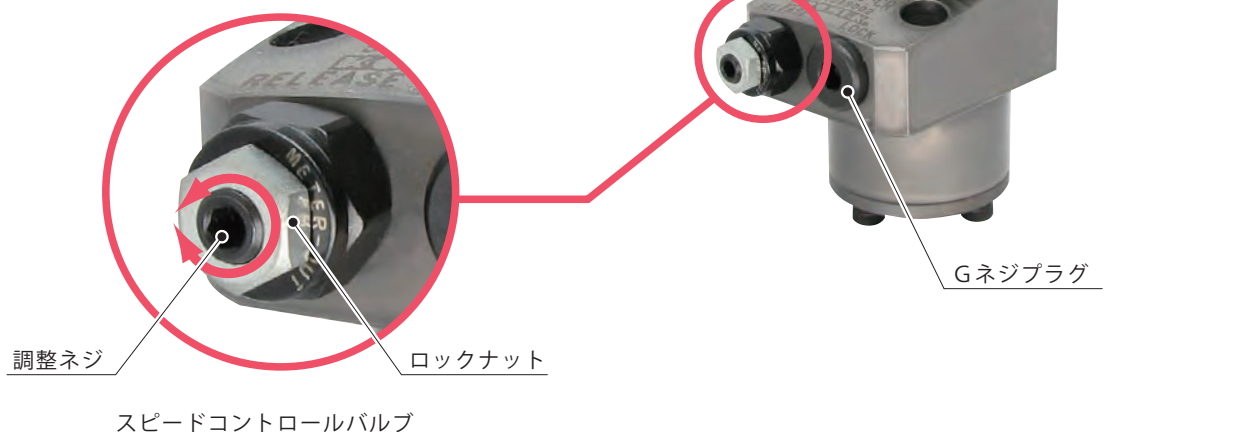


クランプに直接取付

スピコン・エア抜き・プラグ・シーケンスバルブ

● クランプに直接取付

コントロールバルブは、配管方式：Cタイプの油圧クランプ/ワークサポートに直付け可能なGネジ専用スピードコントロールバルブ・エア抜き弁・Gネジプラグ・シーケンスバルブです。



スピードコントロールバルブ

Model BZL
Model BZT



エア抜き弁

Model BZX



Gネジプラグ

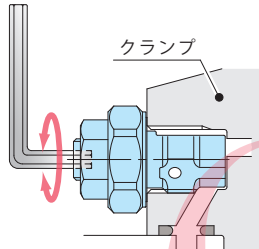
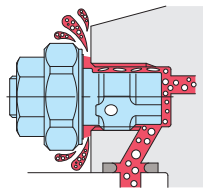
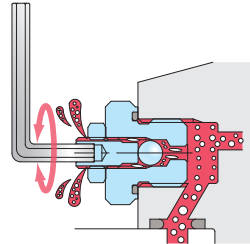
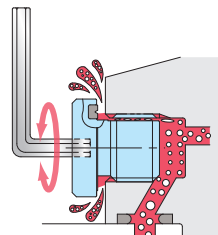
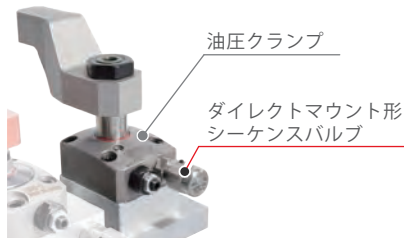
Model JZG



ダイレクトマウント形
シーケンスバルブ

Model BZS

バリエーション

	使用圧力範囲	動作説明
スピードコントロールバルブ (低圧用) Model BZL → P.1213 	7MPa以下	レンチ操作により、流量を調整します。 クランプの動作スピードを個別に調整できます。  クランプ 流量制御
スピードコントロールバルブ (高圧用) Model BZT → P.1217 	35MPa以下	スピードコントロールバルブ本体を緩める ことで、回路中のエア抜きが可能です。 
エア抜き弁 Model BZX → P.1219 	25MPa以下	レンチ操作により回路中のエア抜きが可能です。 
Gネジプラグ Model JZG → P.1221 	35MPa以下	Gネジプラグ本体を緩めることで、回路中の エア抜きが可能です。 
ダイレクトマウント形 シーケンスバルブ Model BZS → P.1223 	7MPa以下	配管方式：Cタイプの油圧クランプに直付け可能な Gネジ専用のシーケンスバルブです。 各アクチュエータの動作順序を制御することができます。  油圧クランプ ダイレクトマウント形 シーケンスバルブ

ハイパワー
シリーズ

エアシリーズ

油圧シリーズ

バルブ・カプラ
ハイドロユニット

手動機器
アクセサリ

注意事項・その他

ホールクランプ
SFA/SFC

スイングクランプ

LHA 複動

LHC 複動

LHD 複動

LHS 複動

LHV 複動

LHW 複動

LG/LT 単動

LGV 単動

TLV-2 複動

TLA-2 複動

TLB-2 複動

TLA-1 単動

リンククランプ

LKA 複動

LKC 複動

LKK 複動

LKV 複動

LKW 複動

LJ/LM 単動

LJV 単動

TMV-2 複動

TMA-2 複動

TMA-1 単動

LFA/LFW 複動

サイドクランプ

LSA/LSE

ワークサポート

LD

LC

LCW

TNC

TC

リフトシリンダ

LLV

LLW

リニアシリンダ/
コンパクトシリンダ

LL/LLR/LLU

DP

DR

DS

DT

ブロックシリンダ

DBA/DBC

センタリングパイプ

FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ

BZL

BZT

BZX/JZG

BZS

パレットクランプ

VS/VT

拡張ロケートピン

VFH

VFL/VFM

VFJ/VFK

ロケートシリンダ

VFP

ブルスタッドクランプ

FP/FQ

カスタムメイド
パネシリンダ

DWA/DWB

● 形式表示 (スピードコントロールバルブ低圧用) PAT.

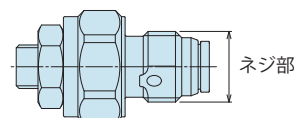
BZL 0 10 1 - B

1
2
3



1 Gネジサイズ

- 10 : ネジ部 G1/8Aネジ
- 20 : ネジ部 G1/4Aネジ
- 30 : ネジ部 G3/8Aネジ

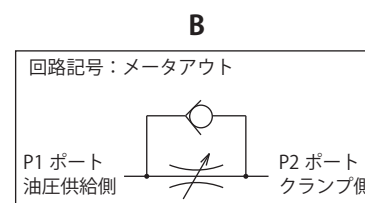
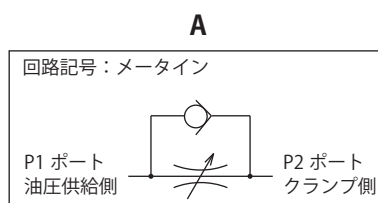


2 デザインNo.

- 1 : 製品のバージョン情報です。

3 制御方式

- A : メータイン
- B : メータアウト



● 仕様

形式		BZL0101-A	BZL0201-A	BZL0301-A	BZL0101-B	BZL0201-B	BZL0301-B
最高使用圧力	MPa	7					
耐 圧	MPa	10.5					
制御方式		メータイン			メータアウト		
G ネジサイズ		G1/8A	G1/4A	G3/8A	G1/8A	G1/4A	G3/8A
クラッキング圧	MPa	0.04			0.12		
最大通路面積	mm ²	2.6	5.0	11.6	2.6	5.0	10.2
使用流体		ISO-VG-32 相当一般作動油					
使用温度	℃	0 ～ 70					
本体推奨取付トルク	N・m	10	25	35	10	25	35
質量	g	12	26	48	12	26	48

- 注意事項
- 必ず本体推奨取付トルクで取付けてください。スピードコントロールバルブ端面はメタルシール構造のため、取付トルクが不足していると、流量調整をできない場合があります。
 - 1度ご使用になったBZLを他のクランプに付け換えないでください。
クランプのGネジ底面深さのバラツキにより、メタルシールが不完全となり流量調整ができない場合があります。

● 取付対応製品

形式	DBA (複動) ブロックシリンダ	DBC (複動) ブロックシリンダ	FVA (複動) センタリングパイプ	FVC (複動) センタリングパイプ	FVD (複動) センタリングパイプ	LC (単動) ワークサポート	LCW (単動) ワークサポート
BZL0101-A	(DBA0250-C□) (DBA0320-C□)	(DBC0250-C□) (DBC0320-C□)	(FVA0401) (FVA0631) (FVA1001)	(FVC0630)	(FVD1600) (FVD2500)	LC0263-C□-□ LC0303-C□□-□ LC0363-C□□-□ LC0403-C□□-□ LC0483-C□□-□ LC0553-C□□-□ LC0653-C□□-□	LCW0363-C□ LCW0403-C□ LCW0483-C□ LCW0553-C□ LCW0653-C□
BZL0101-B	DBA0250-C□ DBA0320-C□	DBC0250-C□ DBC0320-C□	FVA0401 FVA0631 FVA1001	FVC0630	FVD1600 FVD2500		
BZL0201-A	(DBA0400-C□) (DBA0500-C□)	(DBC0400-C□) (DBC0500-C□)		(FVC1000) (FVC1600)	(FVD4000)	LC0753-C□□-□ LC0903-C□□-□	
BZL0201-B	DBA0400-C□ DBA0500-C□	DBC0400-C□ DBC0500-C□		FVC1000 FVC1600	FVD4000		

● 取付対応製品

形式	LHA (複動) スینگクランプ	LHC (複動) スینگクランプ	LHD (複動) スینگクランプ	LHE (複動) ハイパワースینگクランプ	LHS (複動) スینگクランプ	LHV (複動) スینگクランプ	LHW (複動) スینگクランプ	LT (単動) スینگクランプ	LG (単動) スینگクランプ
BZL0101-A	(LHA0360-C□□□) (LHA0400-C□□□) (LHA0480-C□□□) (LHA0550-C□□□)	(LHC0360-C□□□) (LHC0400-C□□□) (LHC0480-C□□□) (LHC0550-C□□□)	(LHD0400-C□□□) (LHD0480-C□□□) (LHD0550-C□□□)	/	(LHS0360-C□□□) (LHS0400-C□□□) (LHS0480-C□□□) (LHS0550-C□□□)	(LHV0400-C□□□) (LHV0480-C□□□) (LHV0550-C□□□)	(LHW0401-C□□□) (LHW0481-C□□□) (LHW0551-C□□□)	LT0301-C□□□ LT0361-C□□□ LT0401-C□□□ LT0481-C□□□ LT0551-C□□□	LG0301-C□□□ LG0361-C□□□ LG0401-C□□□ LG0481-C□□□ LG0551-C□□□
BZL0101-B	LHA0360-C□□□ LHA0400-C□□□ LHA0480-C□□□ LHA0550-C□□□	LHC0360-C□□□ LHC0400-C□□□ LHC0480-C□□□ LHC0550-C□□□	LHD0400-C□□□ LHD0480-C□□□ LHD0550-C□□□	LHE0300-C□□□ LHE0360-C□□□ LHE0400-C□□□ LHE0480-C□□□ LHE0550-C□□□	LHS0360-C□□□ LHS0400-C□□□ LHS0480-C□□□ LHS0550-C□□□	LHV0400-C□□□ LHV0480-C□□□ LHV0550-C□□□	LHW0401-C□□□ LHW0481-C□□□ LHW0551-C□□□	/	/
BZL0201-A	(LHA0650-C□□□) (LHA0750-C□□□)	(LHC0650-C□□□)	/	/	(LHS0650-C□□□) (LHS0750-C□□□)	(LHV0650-C□□□) (LHV0750-C□□□)	(LHW0651-C□□□) (LHW0751-C□□□)	LT0651-C□□□ LT0751-C□□□	LG0651-C□□□ LG0751-C□□□
BZL0201-B	LHA0650-C□□□ LHA0750-C□□□	LHC0650-C□□□	/	/	LHS0650-C□□□ LHS0750-C□□□	LHV0650-C□□□ LHV0750-C□□□	LHW0651-C□□□ LHW0751-C□□□	/	/
BZL0301-A	(LHA0900-C□□□) (LHA1050-C□□□)	/	/	/	(LHS0900-C□□□) (LHS1050-C□□□)	/	/	/	LG0901-C□□□ LG1051-C□□□
BZL0301-B	LHA0900-C□□□ LHA1050-C□□□	/	/	/	LHS0900-C□□□ LHS1050-C□□□	/	/	/	/

形式	LGV (単動) スینگクランプ	LKA (複動) リンククランプ	LKC (複動) リンククランプ	LKE (複動) ハイパワー-リンククランプ	LKK (複動) くるくるリンククランプ	LKV (複動) リンククランプ	LKW (複動) リンククランプ	LM (単動) リンククランプ	LJ (単動) リンククランプ
BZL0101-A	LGV0400-C□□	(LKA0360-C□□□)	(LKC0400-C□□□)	LKE0300-C□	(LKK0360-C-□□)	(LKV0400-C□E-□)	(LKW0401-C□□□□)	LM0300-C□	LJ0302-C□
	LGV0480-C□□	(LKA0400-C□□□)	(LKC0480-C□□□)	LKE0360-C□	(LKK0400-C-□□)	(LKV0480-C□E-□)	(LKW0481-C□□□□)	LM0360-C□	LJ0362-C□
	LGV0550-C□□	(LKA0480-C□□□)	(LKC0550-C□□□)	LKE0400-C□	(LKK0480-C-□□)	(LKV0550-C□E-□)	(LKW0551-C□□□□)	LM0400-C□	LJ0402-C□
		(LKA0550-C□□□)		LKE0480-C□ LKE0550-C□	(LKK0550-C-□□)			LM0480-C□ LM0550-C□	LJ0482-C□ LJ0552-C□
BZL0101-B		LKA0360-C□□□ LKA0400-C□□□ LKA0480-C□□□ LKA0550-C□□□	LKC0400-C□□□ LKC0480-C□□□ LKC0550-C□□□		LKK0360-C-□ LKK0400-C-□ LKK0480-C-□ LKK0550-C-□	LKV0400-C□E-□ LKV0480-C□E-□ LKV0550-C□E-□	LKW0401-C□□□□ LKW0481-C□□□□ LKW0551-C□□□□		
BZL0201-A	LGV0650-C□□ LGV0750-C□□	(LKA0650-C□□□) (LKA0750-C□□□)	(LKC0650-C□□□)		(LKK0650-C-□□)	(LKV0650-C□E-□) (LKV0750-C□E-□)	(LKW0651-C□□□□) (LKW0751-C□□□□)	LM0650-C□ LM0750-C□	LM0652-C□ LM0752-C□
BZL0201-B		LKA0650-C□□□ LKA0750-C□□□	LKC0650-C□□□		LKK0650-C-□□	LKV0650-C□E-□ LKV0750-C□E-□	LKW0651-C□□□□ LKW0751-C□□□□		
BZL0301-A		(LKA0900-C□□□) (LKA1050-C□□□)							LJ0902-C□ LJ1052-C□
BZL0301-B		LKA0900-C□□□ LKA1050-C□□□							

形式	LJV (単動) リンククランプ	LFW (複動) リンククランプ	LFA (複動) リンククランプ	LSA (複動) サイドクランプ	LSE (複動) ハイパワーサイドクランプ	LL (複動) 直動シリンドラ	LLR (複動) 直動シリンドラ	LLV (複動) リフトシリンドラ	LLW (複動) リフトシリンドラ
BZL0101-A	LJV0400-C□□□ LJV0480-C□□□ LJV0550-C□□□	(LFW0480-C□□□) (LFW0550-C□□□)	(LFA0480-C□□□) (LFA0550-C□□□)	(LSA0360-C□□□)	LSE0360-C□□□	(LL0360-C□□□□) (LL0400-C□□□□) (LL0480-C□□□□) (LL0550-C□□□□)	(LLR0360-C□□□□) (LLR0400-C□□□□) (LLR0480-C□□□□) (LLR0550-C□□□□)	(LLV0360-C□□□□) (LLV0400-C□□□□) (LLV0480-C□□□□)	(LLW0361-C□□□□) (LLW0401-C□□□□) (LLW0481-C□□□□)
BZL0101-B	/	LFW0480-C□□□ LFW0550-C□□□	LFA0480-C□□□ LFA0550-C□□□	LSA0360-C□□□	/	LL0360-C□□□□ LL0400-C□□□□ LL0480-C□□□□ LL0550-C□□□□	LLR0360-C□□□□ LLR0400-C□□□□ LLR0480-C□□□□ LLR0550-C□□□□	LLV0360-C□□□□ LLV0400-C□□□□ LLV0480-C□□□□	LLW0361-C□□□□ LLW0401-C□□□□ LLW0481-C□□□□
BZL0201-A	LJV0650-C□□□ LJV0750-C□□□	(LFW0650-C□□□) (LFW0750-C□□□)	(LFA0650-C□□□) (LFA0750-C□□□)	/	/	(LL0650-C□□□□) (LL0750-C□□□□)	(LLR0650-C□□□□) (LLR0750-C□□□□)	/	/
BZL0201-B	/	LFW0650-C□□□ LFW0750-C□□□	LFA0650-C□□□ LFA0750-C□□□	/	/	LL0650-C□□□□ LL0750-C□□□□	LLR0650-C□□□□ LLR0750-C□□□□	/	/
BZL0301-A	/	/	/	/	/	(LL0900-C□□□□) (LL1050-C□□□□)	(LLR0900-C□□□□) (LLR1050-C□□□□)	/	/
BZL0301-B	/	/	/	/	/	LL0900-C□□□□ LL1050-C□□□□	LLR0900-C□□□□ LLR1050-C□□□□	/	/

注意事項 1. 複動シリンドラの速度を制御(LKE/LSEを除く)する場合、ロック側・リリース側共にメータアウト回路としてください。
メータイン回路では、油圧回路中の混入エアの影響を受けやすく、速度制御が困難です。

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ SFA/SFC
スینگクランプ
LHA (複動)
LHC (複動)
LHD (複動)
LHS (複動)
LHV (複動)
LHW (複動)
LG/LT (単動)
LGV (単動)
TLV-2 (複動)
TLA-2 (複動)
TLB-2 (複動)
TLA-1 (単動)

リンククランプ
LKA (複動)
LKC (複動)
LKK (複動)
LKV (複動)
LKW (複動)
LJ/LM (単動)
LJV (単動)
TMV-2 (複動)
TMA-2 (複動)
TMA-1 (単動)
LFA/LFW (複動)

サイドクランプ LSA/LSE

ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC

リフトシリンドラ
LLV
LLW

リニアシリンドラ/ コンパクトシリンドラ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT

ブロックシリンドラ
DBA/DBC

センタリングパイプ
FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS

パレットクランプ
VS/VT

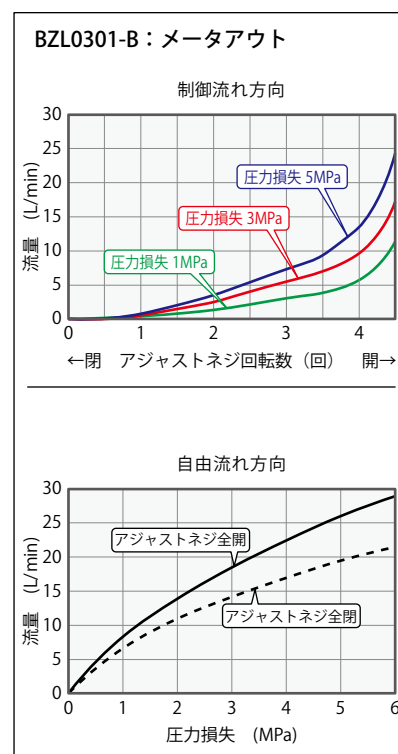
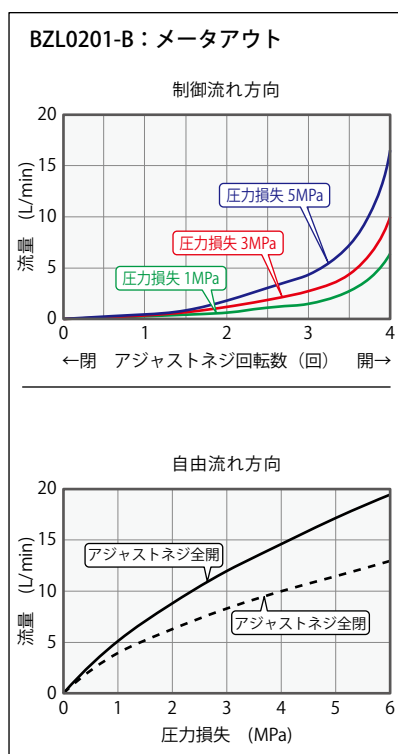
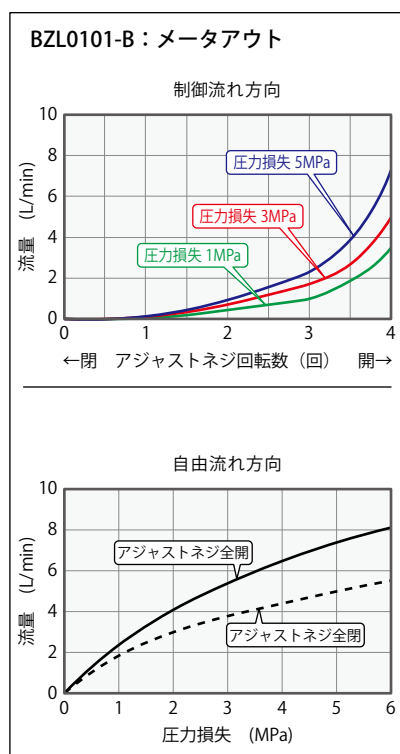
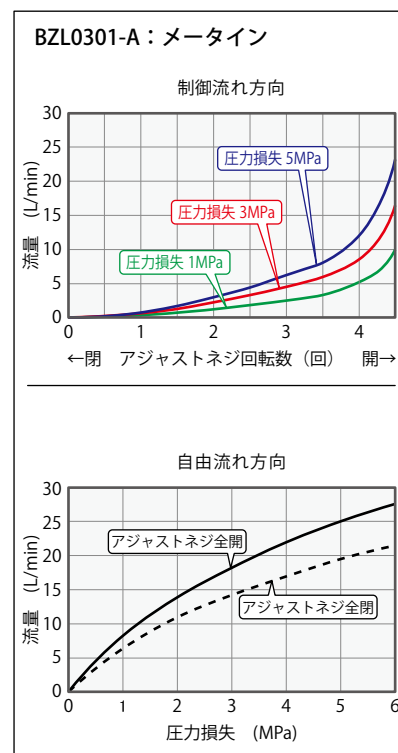
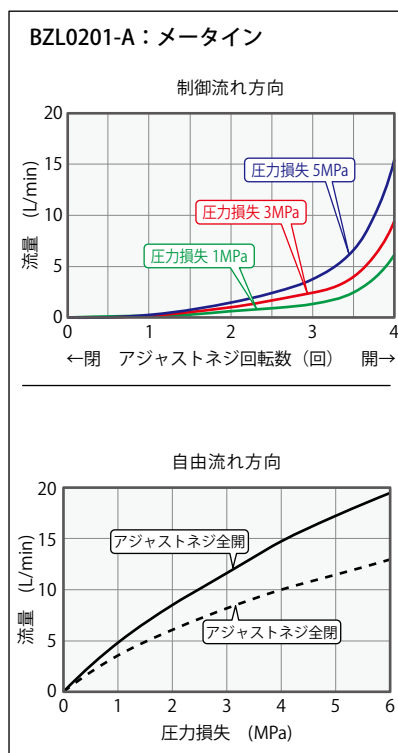
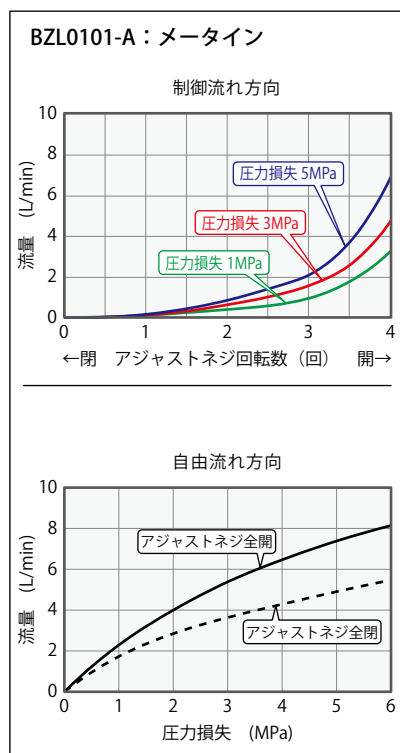
拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK

ロケートシリンドラ
VFP

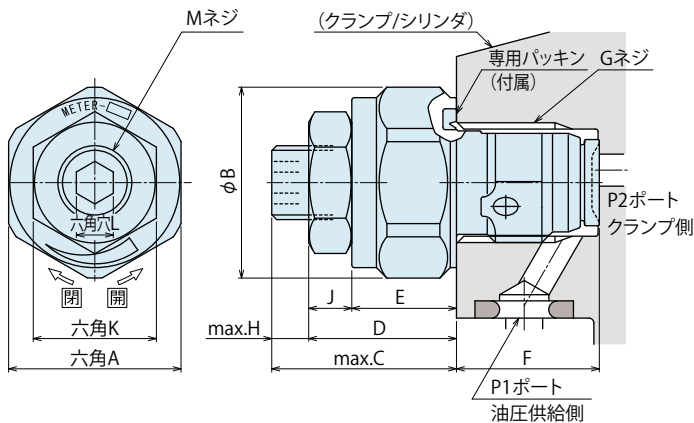
ブルスタッドクランプ
FP/FQ

カスタムメイド パネシリンドラ
DWA/DWB

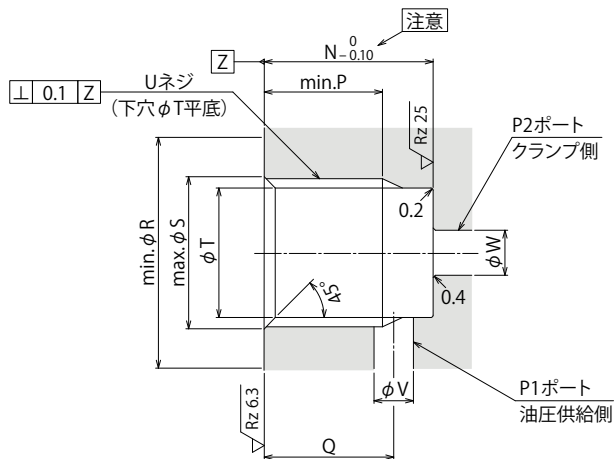
● 流量特性グラフ < 作動油 ISO-VG32 (25~35°) >



● 外形寸法



● 取付部加工寸法



注意事項

1. ∇ Rz 6.3 部はシール面となるので傷等のないようにしてください。
2. ∇ Rz 12.5 部は BZL 端面でのメタルシール面となるので傷等のないようにしてください。(カエリトリ時に注意)
3. 加工穴公差部に切粉・カエリが残らないよう注意してください。
4. 図に示すように P1 ポートを油圧供給側、P2 ポートをクランプ側として使用してください。
5. 市販の G ネジ仕様のプラグや継手を取付けることが考えられる場合は、寸法表内「※1」は 12.5 としてください。

● 注意事項

1. 油圧回路の設計に当たっては、「油圧シリンダの速度制御回路と注意事項」をよく読み、適切な回路を設計してください。
回路設計を誤ると機器の誤動作、破損などが発生する場合があります。(P.1682参照)
2. 高圧下でのエア抜き作業は危険です。必ず低圧で実施してください。(参考: 回路内機器の最低作動圧力程度)

(mm)

形式	BZL0101-□	BZL0201-□	BZL0301-□
A	14	18	22
B	15.5	20	24
C	15	16	20
D	12	13	16
E	8.5	9.5	11
F	(11.6)	(15.1)	(17.6)
G	G1/8	G1/4	G3/8
H	3	3	4
J	3.5	3.5	5
K	10	10	13
L	3	3	4
M	M6×0.75	M6×0.75	M8×0.75
N	11.5	15	17.5
P	8.5	11※1	13
Q	9	11.5	13
R (平面部)	16	20.5	24.5
S	10	13.5	17
T	8.7	11.5	15
U	G1/8	G1/4	G3/8
V	2 ~ 3	3 ~ 4	4 ~ 5
W	2.5 ~ 5	3.5 ~ 7	4.5 ~ 9

ハイパワー
シリーズ

エアシリーズ

油圧シリーズ

バルブ・カプラ
ハイドロユニット手動機器
アクセサリ

注意事項・その他

ホールクランプ
SFA/SFC

スイングクランプ

LHA 複動

LHC 複動

LHD 複動

LHS 複動

LHV 複動

LHW 複動

LG/LT 単動

LGV 単動

TLV-2 複動

TLA-2 複動

TLB-2 複動

TLA-1 単動

リンククランプ

LKA 複動

LKC 複動

LKK 複動

LKV 複動

LKW 複動

LJ/LM 単動

LJV 単動

TMV-2 複動

TMA-2 複動

TMA-1 単動

LFA/LFW 複動

サイドクランプ

LSA/LSE

ワークサポート

LD

LC

LCW

TNC

TC

リフトシリンダ

LLV

LLW

リニアシリンダ/
コンパクトシリンダ

LL/LLR/LLU

DP

DR

DS

DT

ブロックシリンダ

DBA/DBC

センタリングパイプ

FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ

BZL

BZT

BZX/JZG

BZS

パレットクランプ

VS/VT

拡張ロケートピン

VFH

VFL/VFM

VFJ/VFK

ロケートシリンダ

VFP

プルスタッドクランプ

FP/FQ

カスタムメイド
パネシリンダ

DWA/DWB

● 形式表示（エア抜き弁）

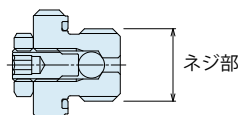
BZX0 1 0

1
2



1 Gネジサイズ

- 1 : ネジ部 G1/8Aネジ
- 2 : ネジ部 G1/4Aネジ
- 3 : ネジ部 G3/8Aネジ



2 デザインNo.

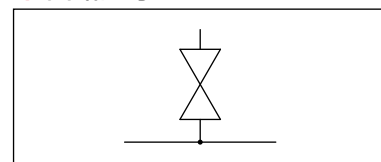
0 : 製品のバージョン情報です。

● 仕様

形式		BZX010	BZX020	BZX030
最高使用圧力	MPa	35		
耐圧	MPa	42		
G ネジサイズ		G1/8A	G1/4A	G3/8A
使用流体		ISO-VG-32 相当一般作動油		
使用温度	℃	0 ~ 70		
本体推奨取付トルク	N・m	10	25	35
質量	g	12	23	36

- 注意事項
- エア抜き作業の際、プラグを緩め過ぎないでください。
(全閉状態から2回転以上緩めないでください。)
 - 高圧下でのエア抜き作業は危険です。必ず低圧で実施してください。
(参考: 回路内機器の最低作動圧力程度)
 - 別途油圧回路内へ設置の際は、BZLの取付部加工寸法を参考にしてください。

● 回路記号



● 取付対応製品

形式	DBA (複動) ブロックシリンダ	DBC (複動) ブロックシリンダ	FVA (複動) センタリングパイプ	FVC (複動) センタリングパイプ	FVD (複動) センタリングパイプ	LC (単動) ワークサポート	LCW (単動) ワークサポート	TC (単動) ワークサポート
BZX010	DBA0250-C□	DBC0250-C□	FVA0401	FVC0630	FVD1600	LC0263-C□-□	LCW0363-C□	TC0403-C□-□-□
	DBA0320-C□	DBC0320-C□	FVA0631		FVD2500	LC0303-C□□-□	LCW0403-C□	TC0483-C□-□-□
			FVA1001			LC0363-C□□-□	LCW0483-C□	TC0553-C□-□-□
						LC0403-C□□-□	LCW0553-C□	TC0653-C□-□-□
						LC0483-C□□-□	LCW0653-C□	TC0753-C□-□-□
						LC0553-C□□-□		
						LC0653-C□□-□		
BZX020	DBA0400-C□	DBC0400-C□		FVC1000	FVD4000	LC0753-C□□-□		
	DBA0500-C□	DBC0500-C□		FVC1600		LC0903-C□□-□		

● 取付対応製品

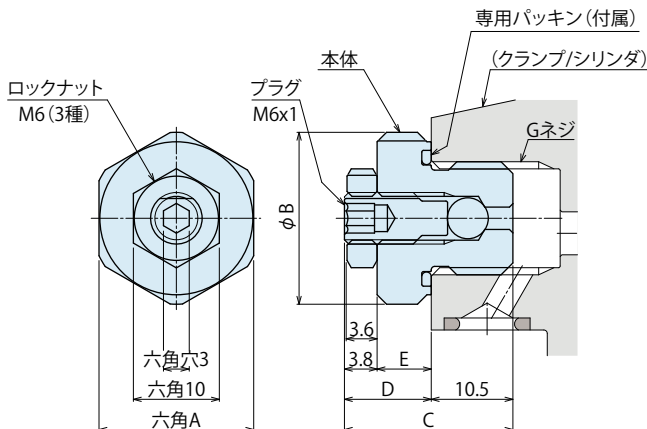
形式	LHA (複動) スイングクランプ	LHC (複動) スイングクランプ	LHD (複動) スイングクランプ	LHE (複動) ハイパワースイングクランプ	LHS (複動) スイングクランプ	LHV (複動) スイングクランプ	LHW (複動) スイングクランプ	LT (単動) スイングクランプ	LG (単動) スイングクランプ
BZX010	LHA0360-C□□□	LHC0360-C□□□	LHD0400-C□□□	LHE0300-C□	LHS0360-C□□□	LHV0400-C□□□	LHW0401-C□□□	LT0301-C□□□	LG0301-C□□□
	LHA0400-C□□□	LHC0400-C□□□	LHD0480-C□□□	LHE0360-C□	LHS0400-C□□□	LHV0480-C□□□	LHW0481-C□□□	LT0361-C□□□	LG0361-C□□□
	LHA0480-C□□□	LHC0480-C□□□	LHD0550-C□□□	LHE0400-C□	LHS0480-C□□□	LHV0550-C□□□	LHW0551-C□□□	LT0401-C□□□	LG0401-C□□□
	LHA0550-C□□□	LHC0550-C□□□		LHE0480-C□	LHS0550-C□□□			LT0481-C□□□	LG0481-C□□□
BZX020	LHA0650-C□□□	LHC0650-C□□□		LHE0550-C□	LHS0650-C□□□	LHV0650-C□□□	LHW0651-C□□□	LT0651-C□□□	LG0651-C□□□
	LHA0750-C□□□				LHS0750-C□□□	LHV0750-C□□□	LHW0751-C□□□	LT0751-C□□□	LG0751-C□□□
BZX030	LHA0900-C□□□				LHS0900-C□□□				LG0901-C□□□
	LHA1050-C□□□				LHS1050-C□□□				LG1051-C□□□

形式	LGV (単動) スイングクランプ
BZX010	LGV0400-C□□
	LGV0480-C□□
	LGV0550-C□□
BZX020	LGV0650-C□□
	LGV0750-C□□
BZX030	

形式	LKA (複動) リンククランプ	LKC (複動) リンククランプ	LKE (複動) ハイパワーリンククランプ	LKK (複動) くるくるリンククランプ	LKV (複動) リンククランプ	LKW (複動) リンククランプ	LM (単動) リンククランプ	LJ (単動) リンククランプ	LJV (単動) リンククランプ
BZX010	LKA0360-C□□□	LKC0400-C□□□	LKE0300-C□	LKK0360-C□□	LKV0400-C□□□	LKW0401-C□□□	LM0300-C□	LJ0302-C□	LJV0400-C□□□
	LKA0400-C□□□	LKC0480-C□□□	LKE0360-C□	LKK0400-C□□	LKV0480-C□□□	LKW0481-C□□□	LM0360-C□	LJ0362-C□	LJV0480-C□□□
	LKA0480-C□□□	LKC0550-C□□□	LKE0400-C□	LKK0480-C□□	LKV0550-C□□□	LKW0551-C□□□	LM0400-C□	LJ0402-C□	LJV0550-C□□□
	LKA0550-C□□□		LKE0480-C□	LKK0550-C□□			LM0480-C□	LJ0482-C□	
BZX020	LKA0650-C□□□	LKC0650-C□□□		LKK0650-C□□	LKV0650-C□□□	LKW0651-C□□□	LM0650-C□	LJ0652-C□	LJV0650-C□□□
	LKA0750-C□□□				LKV0750-C□□□	LKW0751-C□□□	LM0750-C□	LJ0752-C□	LJV0750-C□□□
BZX030	LKA0900-C□□□							LJ0902-C□	
	LKA1050-C□□□							LJ1052-C□	

形式	LFW (複動) リンククランプ	LFA (複動) リンククランプ	LSA (複動) サイドクランプ	LSE (複動) ハイパワーサイドクランプ	LL (複動) 直動シリンダ	LLR (複動) 直動シリンダ	LLV (複動) リフトシリンダ	LLW (複動) リフトシリンダ	TTA (複動) 直動シリンダ
BZX010	LFW0480-C□□	LFA0480-C□□□	LSA0360-C□□	LSE0360-C□□	LL0360-C□□□□	LLR0360-C□□□□	LLV0360-C□□□□	LLW0361-C□□□□	TTA0360-C□□□□
	LFW0550-C□□	LFA0550-C□□□			LL0400-C□□□□	LLR0400-C□□□□	LLV0400-C□□□□	LLW0401-C□□□□	TTA0400-C□□□□
					LL0480-C□□□□	LLR0480-C□□□□	LLV0480-C□□□□	LLW0481-C□□□□	TTA0480-C□□□□
					LL0550-C□□□□	LLR0550-C□□□□			TTA0550-C□□□□
BZX020	LFW0650-C□□	LFA0650-C□□□			LL0650-C□□□□	LLR0650-C□□□□			TTA0650-C□□□□
	LFW0750-C□□	LFA0750-C□□□			LL0750-C□□□□	LLR0750-C□□□□			
BZX030					LL0900-C□□□□	LLR0900-C□□□□			
					LL1050-C□□□□	LLR1050-C□□□□			

● 外形寸法



形式	BZX010	BZX020	BZX030
A	14	18	22
B	15.5	20	24
C	19.8	20.6	20.6
D	9.3	10.1	10.1
E	5.5	6.3	6.3
G	G1/8	G1/4	G3/8

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ SFA/SFC
スイングクランプ
LHA (複動)
LHC (複動)
LHD (複動)
LHS (複動)
LHV (複動)
LHW (複動)
LG/LT (単動)
LGV (単動)
TLV-2 (複動)
TLA-2 (複動)
TLB-2 (複動)
TLA-1 (単動)

リンククランプ
LKA (複動)
LKC (複動)
LKK (複動)
LKV (複動)
LKW (複動)
LJ/LM (単動)
LJV (単動)
TMV-2 (複動)
TMA-2 (複動)
TMA-1 (単動)
LFA/LFW (複動)

サイドクランプ LSA/LSE
ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC

リフトシリンダ
LLV
LLW

リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT

ブロックシリンダ DBA/DBC

センタリングパイプ FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS

パレットクランプ VS/VT

拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK

ロケートシリンダ VFP

ブルスタッドクランプ FP/FQ

カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB

●形式表示 (Gネジプラグ(エア抜き機能付)) PAT.

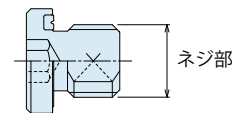
JZG0 1 0

1 2



1 Gネジサイズ

- 1 : ネジ部 G1/8Aネジ
- 2 : ネジ部 G1/4Aネジ
- 3 : ネジ部 G3/8Aネジ



2 デザインNo.

0 : 製品のバージョン情報です。

●仕様

形式	JZG010	JZG020	JZG030
最高使用圧力	MPa 35		
耐圧	MPa 42		
Gネジサイズ	G1/8A	G1/4A	G3/8A
使用流体	ISO-VG-32 相当一般作動油		
使用温度	℃ 0 ~ 70		
本体推奨取付トルク N・m	メネジ側材質：銅	10	25
	メネジ側材質：アルミ (LT/LM 時※1)	8	20
質量	g 7	15	23

- 注意事項
1. 高圧下でのエア抜き作業は危険です。必ず低圧で実施してください。
(参考：回路内機器の最低作動圧力程度)
 2. 別途油圧回路内へ設置の際は、BZLの取付部加工寸法を参考にしてください。
- ※1. LT/LMのボディ材質はアルミ合金ですので、アルミ時の本体推奨取付トルクで取付けてください。

●取付対応製品

形式	LHA (複動) スイングクランプ	LHC (複動) スイングクランプ	LHD (複動) スイングクランプ	LHE (複動) パワー・スイングクランプ	LHS (複動) スイングクランプ	LHV (複動) スイングクランプ	LHW (複動) スイングクランプ	LT (単動) スイングクランプ	LG (単動) スイングクランプ
JZG010	LHA0360-C□□□	LHC0360-C□□□	LHD0400-C□□□	LHE0300-C□□□	LHS0360-C□□□	LHV0400-C□□□	LHW0401-C□□□	LT0301-C□□□	LG0301-C□□□
	LHA0400-C□□□	LHC0400-C□□□	LHD0480-C□□□	LHE0360-C□□□	LHS0400-C□□□	LHV0480-C□□□	LHW0481-C□□□	LT0361-C□□□	LG0361-C□□□
	LHA0480-C□□□	LHC0480-C□□□	LHD0550-C□□□	LHE0400-C□□□	LHS0480-C□□□	LHV0550-C□□□	LHW0551-C□□□	LT0401-C□□□	LG0401-C□□□
	LHA0550-C□□□	LHC0550-C□□□		LHE0480-C□□□	LHS0550-C□□□			LT0481-C□□□	LG0481-C□□□
JZG020	LHA0650-C□□□	LHC0650-C□□□		LHE0550-C□□□	LHS0650-C□□□	LHV0650-C□□□	LHW0651-C□□□	LT0651-C□□□	LG0651-C□□□
	LHA0750-C□□□				LHS0750-C□□□	LHV0750-C□□□	LHW0751-C□□□	LT0751-C□□□	LG0751-C□□□
JZG030	LHA0900-C□□□				LHS0900-C□□□				LG0901-C□□□
	LHA1050-C□□□				LHS1050-C□□□				LG1051-C□□□

形式	LGV (単動) スイングクランプ	DBA (複動) ブロックシリンダ	DBC (複動) ブロックシリンダ	FVA (複動) センタリングパイプ	FVC (複動) センタリングパイプ	FVD (複動) センタリングパイプ	LC (単動) ワークサポート	LCW (単動) ワークサポート	TC (単動) ワークサポート
JZG010	LGV0400-C□□□	DBA0250-C□□□	DBC0250-C□□□	FVA0401	FVC0630	FVD1600	LC0263-C□□□	LCW0363-C□□□	TC0403-C□□□
	LGV0480-C□□□	DBA0320-C□□□	DBC0320-C□□□	FVA0631		FVD2500	LC0303-C□□□	LCW0403-C□□□	TC0483-C□□□
	LGV0550-C□□□			FVA1001			LC0363-C□□□	LCW0483-C□□□	TC0553-C□□□
							LC0403-C□□□	LCW0553-C□□□	TC0653-C□□□
JZG020	LGV0650-C□□□	DBA0400-C□□□	DBC0400-C□□□		FVC1000	FVD4000	LC0483-C□□□	LCW0653-C□□□	TC0753-C□□□
	LGV0750-C□□□	DBA0500-C□□□	DBC0500-C□□□		FVC1600		LC0553-C□□□		
							LC0653-C□□□		
							LC0753-C□□□		
							LC0903-C□□□		

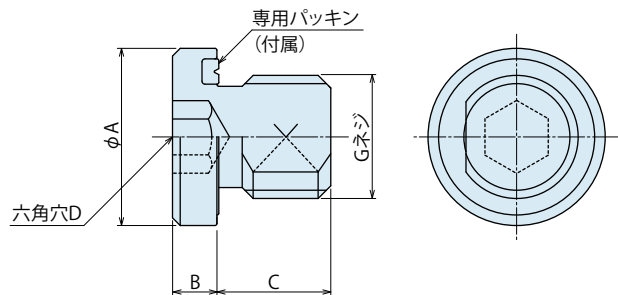
● 取付対応製品

形式	LKA (複動) リンククランプ	LKC (複動) リンククランプ	LKE (複動) ハイパワーリンククランプ	LKK (複動) くるくるリンククランプ	LKV (複動) リンククランプ	LKW (複動) リンククランプ	LM (単動) リンククランプ	LJ (単動) リンククランプ	LJV (単動) リンククランプ
JZG010	LKA0360-C□□□	LKC0400-C□□□	LKE0300-C□□	LKK0360-C□□	LKV0400-C□□E□	LKW0401-C□□□	LM0300-C□□	LJ0302-C□□	LJV0400-C□□□
	LKA0400-C□□□	LKC0480-C□□□	LKE0360-C□□	LKK0400-C□□	LKV0480-C□□E□	LKW0481-C□□□	LM0360-C□□	LJ0362-C□□	LJV0480-C□□□
	LKA0480-C□□□	LKC0550-C□□□	LKE0400-C□□	LKK0480-C□□	LKV0550-C□□E□	LKW0551-C□□□	LM0400-C□□	LJ0402-C□□	LJV0550-C□□□
	LKA0550-C□□□		LKE0480-C□□	LKK0550-C□□			LM0480-C□□	LJ0482-C□□	
JZG020	LKA0650-C□□□	LKC0650-C□□□		LKK0650-C□□	LKV0650-C□□E□	LKW0651-C□□□	LM0650-C□□	LJ0652-C□□	LJV0650-C□□□
	LKA0750-C□□□				LKV0750-C□□E□	LKW0751-C□□□	LM0750-C□□	LJ0752-C□□	LJV0750-C□□□
JZG030	LKA0900-C□□□							LJ0902-C□□	
	LKA1050-C□□□							LJ1052-C□□	

形式	TLA-1 (単動) スイングクランプ	TLA-2 (複動) スイングクランプ	TLB-2 (複動) スイングクランプ	TLV-2 (複動) スイングクランプ	TMA-1 (単動) リンククランプ	TMA-2 (複動) リンククランプ	TMV-2 (複動) リンククランプ
JZG010	TLA0402-1C□	TLA0401-2C□□	TLB0401-2C□□	TLV0800-2C□□	TMA0250-1C□	TMA0250-2C□	TMV0400-2C□□
	TLA0602-1C□	TLA0601-2C□□	TLB0601-2C□□	TLV1000-2C□□	TMA0400-1C□	TMA0400-2C□	TMV0600-2C□□
	TLA0802-1C□	TLA0801-2C□□	TLB0801-2C□□	TLV1600-2C□□	TMA0600-1C□	TMA0600-2C□	TMV1000-2C□□
	TLA1002-1C□	TLA1001-2C□□	TLB1001-2C□□		TMA1000-1C□	TMA1000-2C□	
	TLA1602-1C□	TLA1601-2C□□	TLB1601-2C□□				
JZG020	TLA2002-1C□	TLA2001-2C□□	TLB2001-2C□□	TLV2000-2C□□	TMA1600-1C□	TMA1600-2C□	TMV1600-2C□□
	TLA2502-1C□	TLA2501-2C□□	TLB2501-2C□□		TMA2500-1C□	TMA2500-2C□	
	TLA4002-1C□	TLA4001-2C□□	TLB4001-2C□□		TMA3200-1C□	TMA3200-2C□	

形式	LFA (複動) リンククランプ	LFW (複動) リンククランプ	LSA (複動) サイドクランプ	LSE (複動) ハイパワーサイドクランプ	LL (複動) 直動シリンダ	LLR (複動) 直動シリンダ	LLV (複動) リフトシリンダ	LLW (複動) リフトシリンダ	TTA (複動) 直動シリンダ
JZG010	LFA0480-C□□	LFW0480-C□□	LSA0360-C□□	LSE0360-C□□	LL0360-C□□□	LLR0360-C□□□□	LLV0360-C□□E□	LLW0361-C□□□	TTA0360-C□□□
	LFA0550-C□□	LFW0550-C□□			LL0400-C□□□	LLR0400-C□□□□	LLV0400-C□□E□	LLW0401-C□□□	TTA0400-C□□□
					LL0480-C□□□	LLR0480-C□□□□	LLV0480-C□□E□	LLW0481-C□□□	TTA0480-C□□□
					LL0550-C□□□	LLR0550-C□□□□			TTA0550-C□□□
JZG020	LFA0650-C□□	LFW0650-C□□			LL0650-C□□□	LLR0650-C□□□□			TTA0650-C□□□
	LFA0750-C□□	LFW0750-C□□			LL0750-C□□□	LLR0750-C□□□□			
JZG030					LL0900-C□□□	LLR0900-C□□□□			
					LL1050-C□□□	LLR1050-C□□□□			

● 外形寸法



形式	JZG010	JZG020	JZG030
A	14	18	22
B	3.5	4.5	4.5
C	8	9	10
D	5	6	8
G	G1/8A	G1/4A	G3/8A

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ SFA/SFC
スイングクランプ
LHA (複動)
LHC (複動)
LHD (複動)
LHS (複動)
LHV (複動)
LHW (複動)
LG/LT (単動)
LGV (単動)
TLV-2 (複動)
TLA-2 (複動)
TLB-2 (複動)
TLA-1 (単動)

リンククランプ
LKA (複動)
LKC (複動)
LKK (複動)
LKV (複動)
LKW (複動)
LJ/LM (単動)
LJV (単動)
TMV-2 (複動)
TMA-2 (複動)
TMA-1 (単動)
LFA/LFW (複動)

サイドクランプ
LSA/LSE

ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC

リフトシリンダ
LLV
LLW

リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT

ブロックシリンダ
DBA/DBC

センタリングパイプ
FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS

パレットクランプ
VS/VT

拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK

ロケートシリンダ
VFP

ブルスタッドクランプ
FP/FQ

カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB

PAT.

ダイレクトマウント形シーケンスバルブ

Model BZS

ダイレクトマウント形シーケンスバルブは、配管方式：Cタイプの油圧クランプに直付け可能なGネジ専用のシーケンスバルブです。
アクチュエータの動作順序を簡単に確実な制御することが可能です。



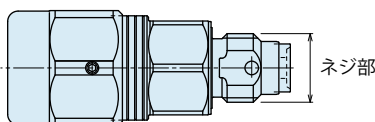
形式表示

BZS 0 10 0

1 2

1 Gネジサイズ

- 10 : ネジ部 G1/8Aネジ
- 20 : ネジ部 G1/4Aネジ
- 30 : ネジ部 G3/8Aネジ



2 デザインNo.

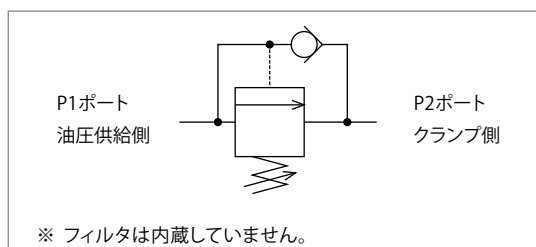
0 : 製品のバージョン情報です。

仕様

形式		BZS0100	BZS0200	BZS0300
シーケンス作動圧力調整範囲	MPa	1.0 ~ 6.0		
使用圧力範囲	MPa	2.0 ~ 7.0		
耐圧	MPa	10.5		
Gネジサイズ		G1/8A	G1/4A	G3/8A
クラッキング圧	MPa	0.03		
調整ネジ圧力変化値:参考	MPa/回転	1.5	1.3	1.1
最小通路面積 mm ²	P1 → P2	2.0	5.7	8.5
	P2 → P1	2.0	5.0	8.2
使用流体		ISO-VG-32相当一般作動油		
使用温度	℃	0 ~ 70		
締付トルク	N・m	10	25	35
質量	g	35	82	155

- 注意事項
1. アクチュエータへの取付けは、P.1225外形寸法記載の六角E部にて上表の締付トルクで行なってください。
締付トルクが不足または過大になると、正常に機能しない場合があります。
 2. 1度で使用になったBZSを他のクランプに付け換えないでください。
クランプのGネジ底面深さのバラツキにより、メタルシールが不完全となりシーケンス動作ができない場合があります。
 3. 設定圧力と供給圧力には、1MPa以上の差を設けてください。
 4. 複数個使用して順次動作させる場合は、各設定圧力に1MPa以上の差を設けてください。
 5. 構成回路(アクチュエータ容量や配管径および経路長等)によっては、供給油量を減少させないと適正なシーケンス動作とならない場合がありますので、必ず流量調整できるよう考慮してください。(1台のアクチュエータ専用かつ直付け式のため、供給油量による影響を受けやすくなります。)
 6. フィルタは内蔵していません。内部に切粉やシールテープ等の異物が侵入した場合、正常に動作できなくなりますので注意してください。内部部品が損傷すると異物除去後も正常動作できない場合があります。

回路記号



シーケンスバルブとは

複数のアクチュエータを順次動作させるバルブで
ワークの位置決め・クランプ順序の制御が可能です。

1 次側圧力 (P 1 ポート) がシーケンス作動圧力設定値に達すると、
2 次側 (P 2 ポート) へ油が供給され、昇圧します。
動作説明は P.1226 を参照願います。

● 取付対応製品

形式	DBA (複動) ブロックシリンダ	DBC (複動) ブロックシリンダ	FVA (複動) センタリングバイス	FVC (複動) センタリングバイス	FVD (複動) センタリングバイス	LHA (複動) スイングクランプ	LHC (複動) スイングクランプ	LHD (複動) スイングクランプ	LHE (複動) ハイパワースイングクランプ
BZS0100	DBA0250-C□ DBA0320-C□	DBC0250-C□ DBC0320-C□	FVA0401 FVA0631 FVA1001	FVC0630	FVD1600 FVD2500	LHA0360-C□□□ LHA0400-C□□□ LHA0480-C□□□ LHA0550-C□□□	LHC0360-C□□□ LHC0400-C□□□ LHC0480-C□□□ LHC0550-C□□□	LHD0400-C□□□ LHD0480-C□□□ LHD0550-C□□□	LHE0300-C□ LHE0360-C□ LHE0400-C□ LHE0480-C□ LHE0550-C□
BZS0200	DBA0400-C□ DBA0500-C□	DBC0400-C□ DBC0500-C□		FVC1000 FVC1600※1	FVD4000	LHA0650-C□□□ LHA0750-C□□□	LHC0650-C□□□		
BZS0300						LHA0900-C□□□ LHA1050-C□□□			

形式	LHS (複動) スイングクランプ	LHV (複動) スイングクランプ	LHW (複動) スイングクランプ	LT (単動) スイングクランプ	LG (単動) スイングクランプ	LGV (単動) スイングクランプ	LKA (複動) リンククランプ	LKC (複動) リンククランプ	LKE (複動) ハイパワーリンククランプ
BZS0100	LHS0360-C□□□ LHS0400-C□□□ LHS0480-C□□□ LHS0550-C□□□	LHV0400-C□□□ LHV0480-C□□□ LHV0550-C□□□	LHW0401-C□□□ LHW0481-C□□□ LHW0551-C□□□	LT0301-C□□□ LT0361-C□□□ LT0401-C□□□ LT0481-C□□□ LT0551-C□□□	LG0301-C□□□ LG0361-C□□□ LG0401-C□□□ LG0481-C□□□ LG0551-C□□□	LGV0400-C□□□ LGV0480-C□□□ LGV0550-C□□□	LKA0360-C□□□ LKA0400-C□□□ LKA0480-C□□□ LKA0550-C□□□	LKC0400-C□□□ LKC0480-C□□□ LKC0550-C□□□	LKE0300-C□ LKE0360-C□ LKE0400-C□ LKE0480-C□ LKE0550-C□
BZS0200	LHS0650-C□□□ LHS0750-C□□□	LHV0650-C□□□ LHV0750-C□□□	LHW0651-C□□□ LHW0751-C□□□	LT0651-C□□□ LT0751-C□□□	LG0651-C□□□ LG0751-C□□□	LGV0650-C□□□ LGV0750-C□□□	LKA0650-C□□□ LKA0750-C□□□	LKC0650-C□□□	
BZS0300	LHS0900-C□□□ LHS1050-C□□□				LG0901-C□□□ LG1051-C□□□		LKA0900-C□□□ LKA1050-C□□□		

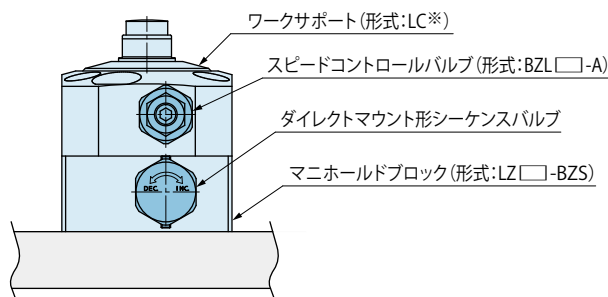
形式	LKK (複動) くるくるリンククランプ	LKV (複動) リンククランプ	LKW (複動) リンククランプ	LM (単動) リンククランプ	LJ (単動) リンククランプ	LJV (単動) リンククランプ
BZS0100	LKK0360-C□□ LKK0400-C□□ LKK0480-C□□ LKK0550-C□□	LKV0400-C□□□ LKV0480-C□□□ LKV0550-C□□□	LKW0401-C□□□ LKW0481-C□□□ LKW0551-C□□□	LM0300-C□□ LM0360-C□□ LM0400-C□□ LM0480-C□□ LM0550-C□□	LJ0302-C□□ LJ0362-C□□ LJ0402-C□□ LJ0482-C□□ LJ0552-C□□	LJV0400-C□□□ LJV0480-C□□□ LJV0550-C□□□
BZS0200	LKK0650-C□□	LKV0650-C□□□ LKV0750-C□□□	LKW0651-C□□□ LKW0751-C□□□	LM0650-C□□ LM0750-C□□	LM0652-C□□ LM0752-C□□	LJV0650-C□□□ LJV0750-C□□□
BZS0300					LJ0902-C□□ LJ1052-C□□	

形式	LFW (複動) リンククランプ	LFA (複動) リンククランプ	LSA (複動) サイドクランプ	LSE (複動) ハイパワーサイドクランプ	LL (複動) 直動シリンダ	LLR (複動) 直動シリンダ	LLV (複動) リフトシリンダ	LLW (複動) リフトシリンダ
BZS0100	LFW0480-C□□ LFW0550-C□□	LFA0480-C□□□ LFA0550-C□□□	LSA0360-C□□	LSE0360-C□□	LL0360-C□□□□ LL0400-C□□□□ LL0480-C□□□□ LL0550-C□□□□	LLR0360-C□□□□ LLR0400-C□□□□ LLR0480-C□□□□ LLR0550-C□□□□	LLV0360-C□□□□ LLV0400-C□□□□ LLV0480-C□□□□	LLW036□-C□□□□ LLW040□-C□□□□ LLW048□-C□□□□
BZS0200	LFW0650-C□□ LFW0750-C□□	LFA0650-C□□□ LFA0750-C□□□			LL0650-C□□□□ LL0750-C□□□□	LLR0650-C□□□□ LLR0750-C□□□□		
BZS0300					LL0900-C□□□□ LL1050-C□□□□	LLR0900-C□□□□ LLR1050-C□□□□		

注意事項 ※1. FVC1000にBZSを2台取り付けることはできません。

【ワークサポートの場合】

ワークサポート(形式:LC※)にダイレクトマウント形シーケンスバルブをご希望の場合は
下図の通り、ワークサポートにスピードコントロールバルブ(形式:BZL□□-A)を取付けていただき
マニホールドブロックにダイレクトマウント形シーケンスバルブを取付けていただくことで使用可能です。
LC用マニホールドブロック(形式:LZ□□-BZS)についてはP.1227を参照願います。
※LCWへの採用で検討は別途お問い合わせください。



ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ SFA/SFC
スイングクランプ
LHA (複動)
LHC (複動)
LHD (複動)
LHS (複動)
LHV (複動)
LHW (複動)
LG/LT (単動)
LGV (単動)
TLV-2 (複動)
TLA-2 (複動)
TLB-2 (複動)
TLA-1 (単動)

リンククランプ
LKA (複動)
LKC (複動)
LKK (複動)
LKV (複動)
LKW (複動)
LJ/LM (単動)
LJV (単動)
TMV-2 (複動)
TMA-2 (複動)
TMA-1 (単動)
LFA/LFW (複動)

サイドクランプ LSA/LSE
ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC

リフトシリンダ
LLV
LLW

リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT

ブロックシリンダ
DBA/DBC

センタリングバイス
FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS

パレットクランプ
VS/VT

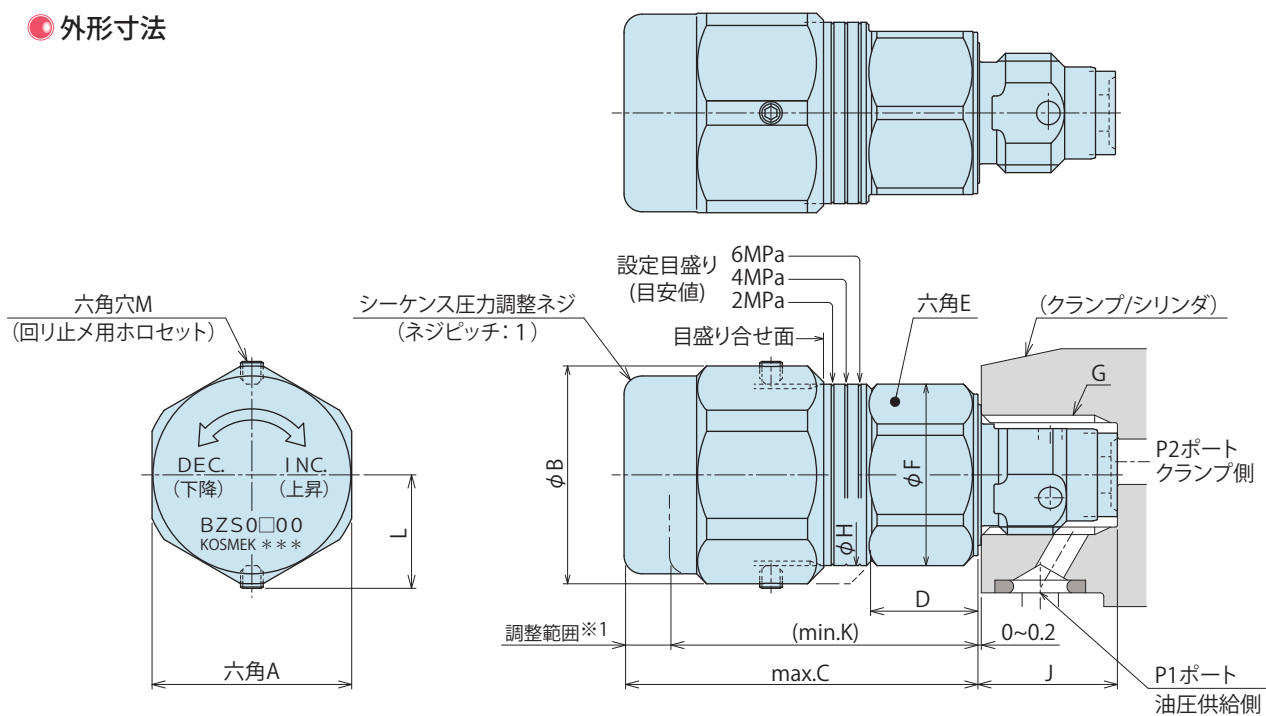
拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK

ロケートシリンダ
VFP

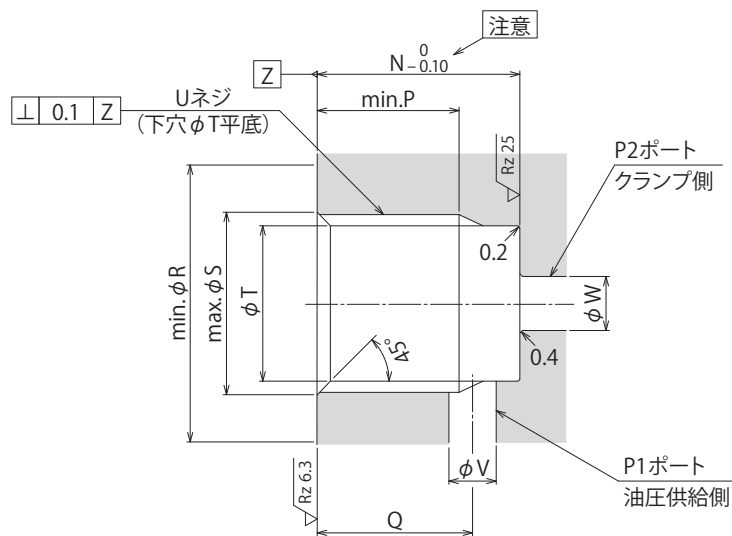
ブルスタッドクランプ
FP/FQ

カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB

● 外形寸法



● 取付部加工寸法



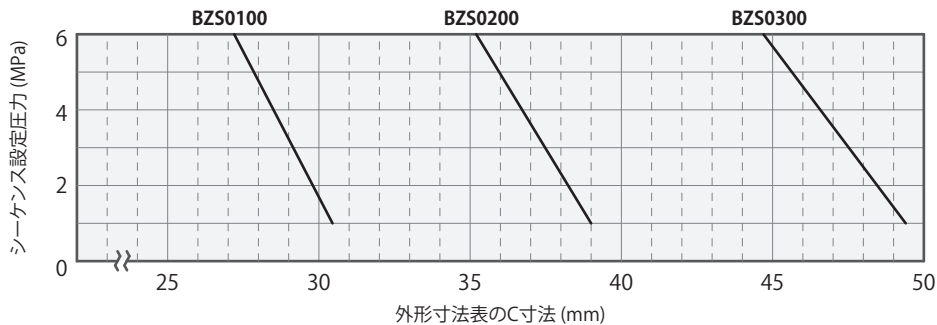
(mm)			
形式	BZS0100	BZS0200	BZS0300
A	16	22	27
B	17.5	24	29.5
C	30.5	39	49.5
D	7.5	12	15
E	14	18	22
F	15.5	20	24
G	G1/8	G1/4	G3/8
H	13.8	20	24
J※2	(11.6)	(15.1)	(17.6)
K	(26.5)	(34)	(44)
L	9.5	12.5	15
M	1.3	1.3	1.5
N	11.5	15	17.5
P	8.5	11※3	13
Q	9	11.5	13
R (平面部)	16	20.5	24.5
S	10	13.5	17
T	8.7	11.5	15
U	G1/8	G1/4	G3/8
V	2 ~ 3	3 ~ 4	4 ~ 5
W	2.5 ~ 5	3.5 ~ 7	4.5 ~ 9

注意事項

1. $\sqrt{Rz\ 6.3}$ 部はシール面となるので傷等のないようにしてください。
 2. $\sqrt{Rz\ 12.5}$ 部はBZS端面でのメタルシール面となるので傷等のないようにしてください。(カエリトリ時に注意)
 3. 加工穴公差部に切粉・カエリが残らないよう注意してください。
 4. 図に示すようにP1 ポートを油圧供給側、P2 ポートをクランプ側として使用してください。
- ※1. シーケンス圧力調整ネジは、※2(上図寸法 K ~ C) の調整範囲でご使用ください。
max.C からさらに緩めると圧力調整ネジ部品と内部バネが外れますので注意してください。
- ※2. 装着時寸法を示します。(装着前は、+0.5mm となります。)
- ※3. 市販の G ネジ仕様のプラグや継手を取付けることが考えられる場合は、寸法表内「※3」は 12.5 としてください。

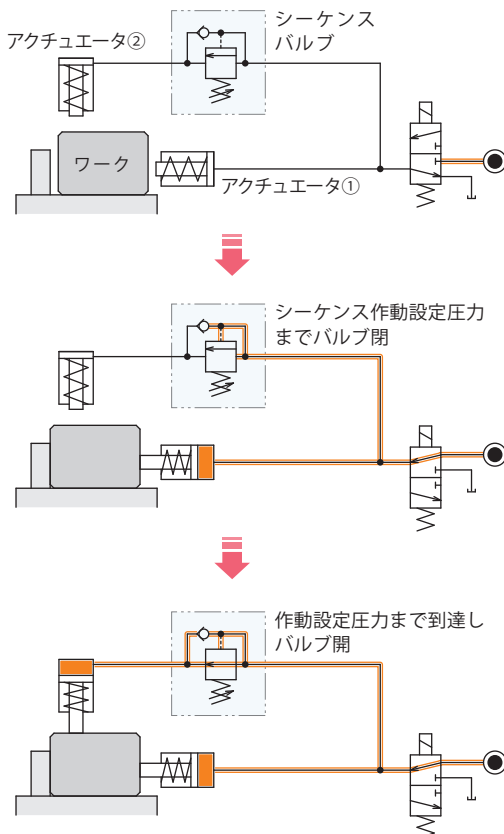
● 注意事項

1. 油圧回路の設計に当っては、適切な回路を設計してください。回路設計を誤ると機器の誤動作、破損などが発生する場合があります。
2. フィルタは内蔵していません。 内部に切粉やシールテープ等の異物が侵入した場合、正常に動作できなくなりますので注意してください。
内部部品が損傷すると異物除去後も正常動作できない場合があります。
3. 構成回路（アクチュエータ容量や配管径および経路長等）によっては、供給油量を減少させないと適正なシーケンス動作とならない場合があります
ので、必ず流量調整できるよう考慮してください。（1台のアクチュエータ専用かつ直付け式のため、供給油量による影響を受けやすくなります。）
4. 設定圧力と供給圧力には、1MPa以上の差を設けてください。
5. 複数個使用して順次動作させる場合は、各設定圧力に1MPa以上の差を設けてください。
6. 複数個使用して同時動作させる場合は、動作確認をしながら微調整してください。
7. 本品の取付けにより、各アクチュエータの最小通路面積は小さくなります。動作時間が長くなる場合がありますので注意してください。
8. アクチュエータへの取付けは、P.1227外形寸法記載の六角E部にてP.1223仕様欄に示す締付トルクで行なってください。
締付トルクが不足または過大になると、正常に機能しない場合があります。
9. 回路内にエアが混入すると、正常な動作とならない場合がありますのでエア抜きを実施してください。
10. 出荷時、シーケンス圧力は未設定状態となりますので、下図グラフを目安に設定してください。尚、必要に応じて、回路内に圧力計を設けて
確認してください。設定後は、回り止め用ホロセット1ヶ所以上を締めてください。（締付トルク:0.2N・m）



（本グラフは参考であり、保証するものではありません。）

● 動作説明



動作順序		備考
ロック時	油圧ON	
	アクチュエータ①が動作	
	シーケンス作動設定圧力まで圧力上昇	使用圧力とシーケンス作動設定圧力は1MPa以上の差圧を設けること
	シーケンスバルブの回路が開く	
	アクチュエータ②が動作	
	ロック完了	
加工等		
リリース時	油圧OFF	
	アクチュエータ①と②が、ほぼ同時にリリース	1次側圧力が低下するとシーケンスバルブ内チェック弁が開く
	リリース完了	

ハイパワーシリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他

ホールクランプ SFA/SFC

スイングクランプ
LHA 複動
LHC 複動
LHD 複動
LHS 複動
LHV 複動
LHW 複動
LG/LT 単動
LGV 単動
TLV-2 複動
TLA-2 複動
TLB-2 複動
TLA-1 単動

リンククランプ
LKA 複動
LKC 複動
LKK 複動
LKV 複動
LKW 複動
LJ/LM 単動
LJV 単動
TMV-2 複動
TMA-2 複動
TMA-1 単動
LFA/LFW 複動

サイドクランプ LSA/LSE

ワークサポート
LD
LC
LCW
TNC
TC

リフトシリンダ
LLV
LLW

リニアシリンダ/ コンパクトシリンダ
LL/LLR/LLU
DP
DR
DS
DT

ブロックシリンダ
DBA/DBC

センタリングパイプ
FVA/FVC/FVD

コントロールバルブ
BZL
BZT
BZX/JZG
BZS

パレットクランプ
VS/VT

拡張ロケートピン
VFH
VFL/VFM
VFJ/VFK

ロケートシリンダ
VFP

プルスタッドクランプ
FP/FQ

カスタムメイド パネシリンダ
DWA/DWB

センサユニット

1ポート2センシングクランプ用

Model LZV0010



● 説明

1ポート2センシングクランプ (LHV、LGV-C□E、LKV、LJV-C□E、LLV、TLV-2C□E、TMV-2C□E) 用の動作確認に必要なエアセンサやバルブ、フィルタ、レギュレータ、クリーニング回路をユニット化したセンサユニットです。
ご使用条件に応じてセンサ設定もセットした状態で出荷いたします。

● 形式表示

LZV0010 - C 2 H A

1
2
3
4
5

1 デザインNo.

0: 製品のバージョン情報です。

2 接続先クランプ形式

C: LHV、LGV-C□E、LKV、LJV-C□E、TLV-2C□E、TMV-2C□E 用
L: LLV用

3 クランプ接続台数

2～4: **2 C** 選択時は2台～4台
(但し、**4** センサ供給圧力コード**L** 選択時は2台～3台)

1～2: **2 L** 選択時は1台～2台

※ 例) LHV を 3 台接続する場合は「3」としてください。
LLV を 1 台接続する場合は「1」としてください。

4 センサ供給圧力コード

H: 200 kPa (0.200MPa)
M: 150 kPa (0.150MPa)
L: 100 kPa (0.100MPa)

※ クランプを 4 台接続する場合は、150kPa 以上の
H もしくは **M** タイプを選択してください。

※ エアセンサへの供給圧力、A ポートからの吐出圧力を示します。

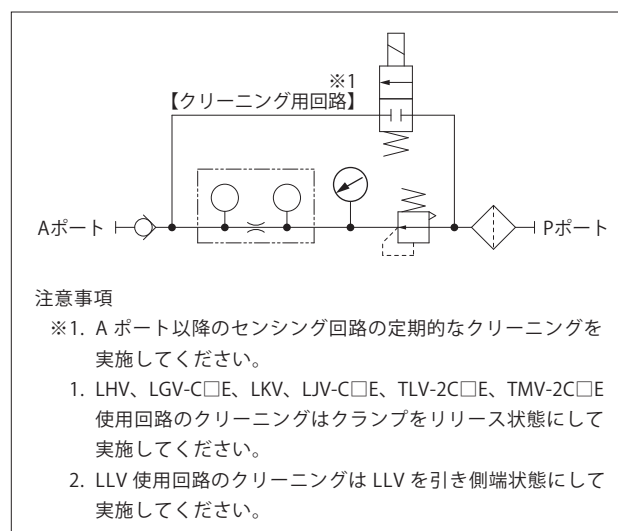
5 センサ出力仕様コード

A: NPN出力
B: PNP出力

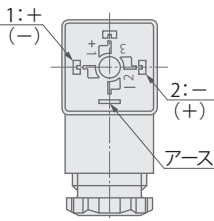
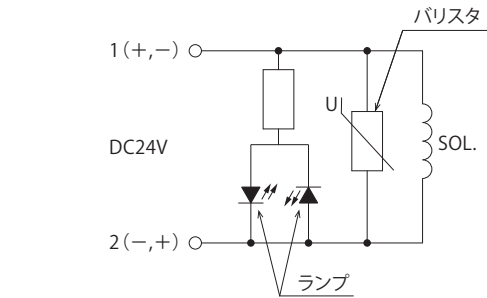
● 仕様

形式	LZV0010 -□□L□	LZV0010 -□□M□	LZV0010 -□□H□
最高供給圧力(Pポート供給圧力) MPa	0.6		
最低供給圧力(Pポート供給圧力) MPa	0.150	0.200	0.250
センサ供給圧力 MPa	0.100	0.150	0.200
使用温度 ℃	0 ～ 50		
使用流体	ドライエア		
電源電圧	DC24V±10%		
消費電力 W	エアセンサ	0.6	
	ソレノイドバルブ	4.5	
質量 kg	2.4		

● 回路記号



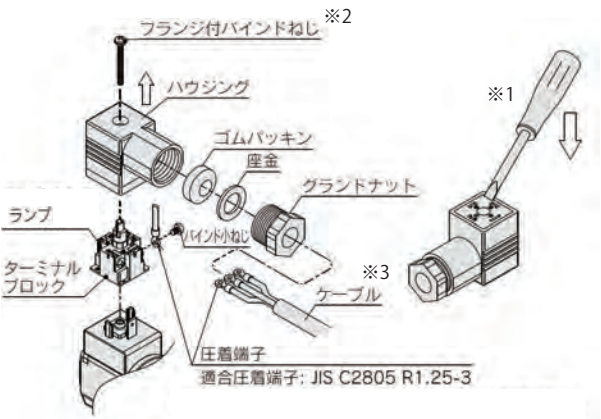
● クリーニング回路用ソレノイドバルブ電気回路図



端子 No.	1	2
DIN端子	+ (-)	- (+)

※極性はありません。

● 下図を参考にDIN端子を接続してください。



注意事項

- ※1. ターミナルブロックの底の部分に切り欠き部があり、そこに小型マイナスインドライバ等を差し込み、ハウジングからターミナルブロックを外します。
- ※2. 締付トルクは 0.5 ～ 0.6 N・m の範囲で締付けてください。
- ※3. ケーブルは外径寸法 $\phi 6 \sim \phi 12\text{mm}$ まで使用できます。ケーブル外径が $\phi 9 \sim \phi 12\text{mm}$ のものは、ゴムパッキンの内側の部分を抜いてからご使用ください。

● エアセンサ単品での形式

LZV0020 - C 2 H A

1 2 3 4 5

1 デザインNo.

0: 製品のバージョン情報です。

2 接続先クランプ形式

C : LHV、LGV-C□E、LKV、LJV-C□E、TLV-2C□E、TMV-2C□E 用
L : LLV用

3 クランプ接続台数

2～4: **2 C** 選択時は2台～4台
(但し、**4** センサ供給圧力コード**L** 選択時は2台～3台)

1～2: **2 L** 選択時は1台～2台

※ 例) LHV を 3 台接続する場合は「3」としてください。
LLV を 1 台接続する場合は「1」としてください。

4 センサ供給圧力コード

H : 200 kPa (0.200MPa)
M : 150 kPa (0.150MPa)
L : 100 kPa (0.100MPa)

※ クラмпを 4 台接続する場合は、150kPa 以上の
H もしくは **M** タイプを選択してください。

※ エアセンサへの供給圧力、A ポートからの吐出圧力を示します。

5 センサ出力仕様コード

A : NPN出力
B : PNP出力



形式表示の**1～5**はLZV0010の場合と同様です。

形式	LZV0020-□□□□
質量	kg 0.15

● ケーブル単品での形式

LZV0030 - L

1 2

1 デザインNo.

0: 製品のバージョン情報です。

2 オプション

L : ライトアングルケーブル
S : ストレートケーブル

L : ライトアングルケーブル

S : ストレートケーブル



形式	LZV0030-□
質量	kg 0.15

ハイパワー シリーズ
エアシリーズ
油圧シリーズ
バルブ・カプラ ハイドロユニット
手動機器 アクセサリ
注意事項・その他
スクリュー ロケータ
VXX/VXE
手動 拡張ロケータピン
VX
マニホールド ブロック
WHZ-MD
LZY-MD
LZ-MS
LZ-MP
LZ-C
LZ-CQ
TMZ-1MB
TMZ-2MB
DZ-M
配管ブロック ナット
DZ-R
DZ-C
DZ-P
DZ-B
LZ-S
LZ-SQ
WNZ-SQ
TNZ-S
TNZ-SQ
センサユニット
LZV0010
圧力スイッチ
JBA
プレッシャゲージ
JGA/JGB
ブランチ
JX
カプラスイッチ
PS
Gネジ用継手

営業拠点 Address

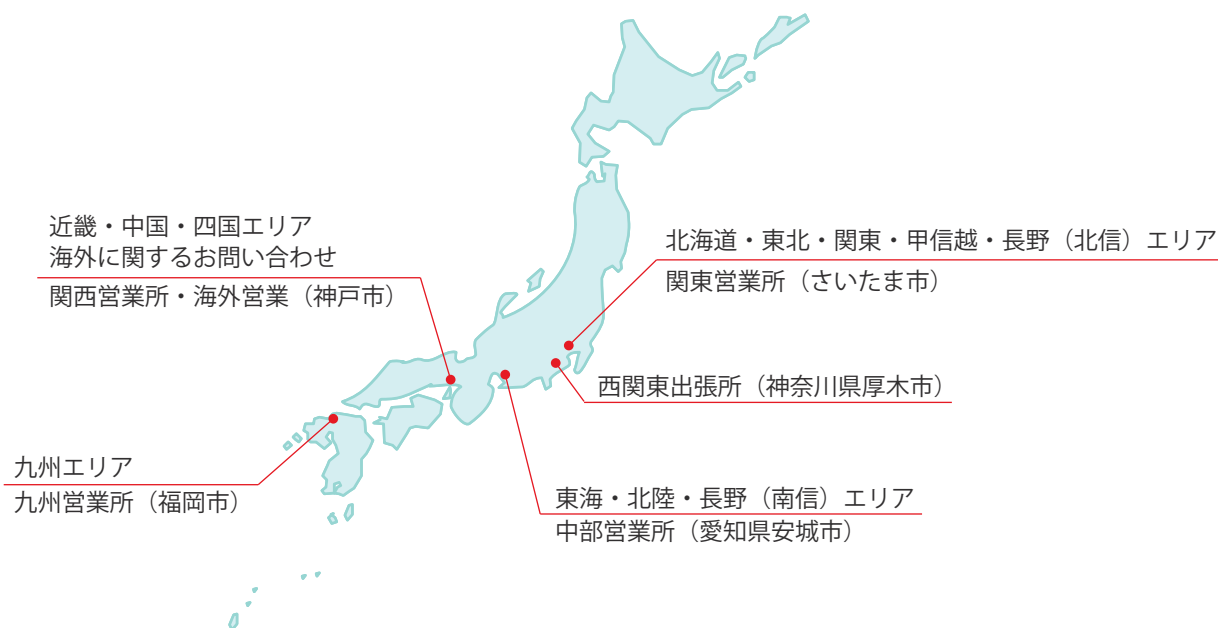
国内営業拠点

本社・工場 関西営業所	TEL.078-991-5115 〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷2丁目1番5号	FAX.078-991-8787
関東営業所	TEL.048-652-8839 〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町4丁目81番地	FAX.048-652-8828
西関東出張所	TEL.048-652-8839 〒243-0014 神奈川県厚木市旭町5丁目35-1-305	FAX.048-652-8828
中部営業所	TEL.0566-74-8778 〒446-0076 愛知県安城市美園町2丁目10番地1	FAX.0566-74-8808
九州営業所	TEL.092-433-0424 〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1丁目8-10-101	FAX.092-433-0426
海外営業	TEL.+81-78-991-5162 〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷2丁目1番5号 KOSMEK LTD. 1-5, 2-chome, Murotani, Nishi-ku, Kobe-city, Hyogo, 651-2241 Japan	FAX.+81-78-991-8787

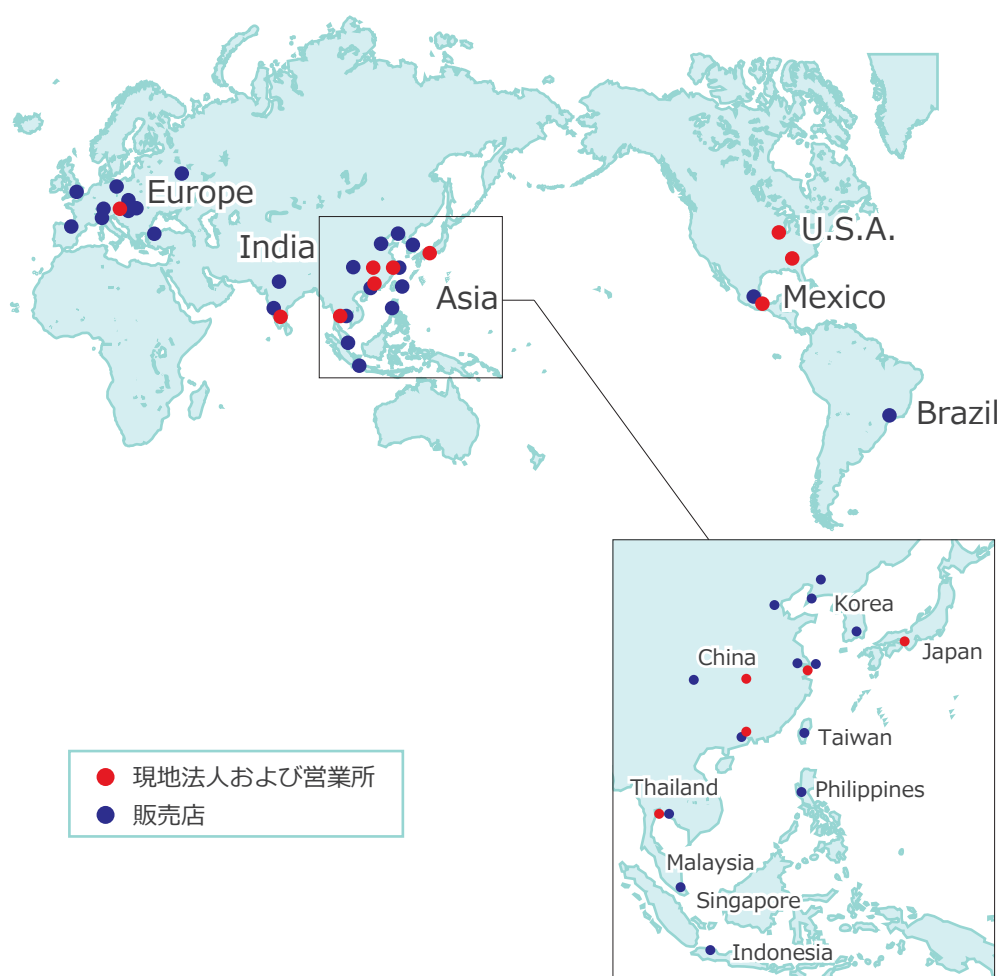
海外営業拠点

USA アメリカ合衆国	KOSMEK (USA) LTD. 現地法人	TEL. +1-630-620-7650 FAX. +1-630-620-9015 650 Springer Drive, Lombard, IL 60148 USA
	アトランタ支店 KOSMEK (USA) LTD. Atlanta Office	TEL. +1-708-577-3275 303 Perimeter Center North, Suite 300, Atlanta, GA 30346 USA
Mexico メキシコ	メキシコ支店 KOSMEK (USA) LTD. Mexico Office	TEL. +52-1-55-3044-9983 Av. Santa Fe 103, Int. 59, col. Santa Fe Juriquilla, Queretaro, QRO, 76230, Mexico
Europe ヨーロッパ	KOSMEK EUROPE GmbH 現地法人	TEL. +43-463-287587 FAX. +43-463-287587-20 Schleppeplatz 2 9020 Klagenfurt am Wörthersee Austria
China 中国	考世美(上海)貿易有限公司 KOSMEK (CHINA) LTD. 現地法人	TEL.+86-21-54253000 FAX.+86-21-54253709 中国上海市浦东新区浦三路21弄55号银亿滨江中心601室 Room601, RIVERSIDE PYRAMID No.55, Lane21, Pusan Rd, Pudong Shanghai China
	東莞事務所 考世美(上海)貿易有限公司	TEL.+86-769-85300880 広東東莞長安鎮德政西路15号宏基本大厦301号室 Room301, AcerBuilding No.15, Dezheng(W)Road, Changan Town Dongguan Guangdong 523843, P.R.China
	武漢事務所 考世美(上海)貿易有限公司	TEL.+86-27-59822303 湖北省武漢市沌口經濟開發区経開未来城A棟-502室 Room502, Building A, Jingkai Future City, Zhuankou Economic Development Zone, Wuhan City, Hubei Province, 430050 China
India インド	KOSMEK LTD. - INDIA 支店	TEL. +91-9880561695 4A/Old No:649, Ground Floor, 4th D cross, MM Layout, Kavalbyrasandra, RT Nagar, Bangalore -560032 India
Thailand タイ	タイ事務所 Thailand Representative Office	TEL. +66-2-300-5132 FAX. +66-2-300-5133 67 Soi 58, RAMA 9 Rd., Phatthanakan, Suanluang, Bangkok 10250, Thailand
Taiwan 台湾	盈生貿易有限公司 Full Life Trading Co., Ltd. 総代理店	TEL. +886-2-82261860 FAX. +886-2-82261890 台湾新北市中和區建八路2號16F-4 (遠東世紀廣場) 16F-4, No.2, Jian Ba Rd., Zhonghe District, New Taipei City Taiwan 23511
Philippines フィリピン	G.E.T. Inc, Phil. 総代理店	TEL.+63-2-310-7286 FAX. +63-2-310-7286 Victoria Wave Special Economic Zone Mt. Apo Building, Brgy. 186, North Caloocan City, Metro Manila, Philippines 1427
Indonesia インドネシア	PT. Yamata Machinery 総代理店	TEL. +62-21-29628607 FAX. +62-21-29628608 Delta Commercial Park I, Jl. Kenari Raya B-08, Desa Jayamukti Kec. Cikarang Pusat Kab. Bekasi 17530 Indonesia

エリア別営業拠点



Global Network



●記載以外の仕様および寸法については、別途お問い合わせください。
●このカタログの仕様は予告なしに変更することがあります。



JQA-QMA10823
コスメック本社

